

# 附 属 资 料

# 横浜市勢

平成29年1月1日現在

区分	面積 (km <sup>2</sup> )	人口			世帯数	1 km <sup>2</sup> 当たり	
		総数	男	女		人口	世帯数
平成24年	435.17	3,697,035	1,847,295	1,849,740	1,606,723	8,496	3,692
平成25年	435.17	3,703,258	1,848,421	1,854,837	1,618,734	8,510	3,720
平成26年	435.21	3,711,450	1,850,872	1,860,578	1,632,699	8,528	3,752
平成27年	435.23	3,724,695	1,855,497	1,869,198	1,646,348	8,558	3,783
平成28年 [H29.1.1現在]	435.29	3,731,096	1,857,056	1,874,040	1,661,002	8,572	3,816
鶴見区	32.38	287,451	148,559	138,892	134,532	8,877	4,155
神奈川区	23.59	240,224	122,307	117,917	120,957	10,183	5,127
西区	6.98	98,646	49,863	48,783	52,039	14,133	7,455
中区	20.93	149,095	78,344	70,751	79,506	7,124	3,799
南区	12.63	194,752	96,971	97,781	96,335	15,420	7,627
港南区	19.86	214,519	105,410	109,109	91,598	10,802	4,612
保土ヶ谷区	21.81	206,621	102,834	103,787	94,013	9,474	4,311
旭区	32.78	246,517	119,695	126,822	103,547	7,520	3,159
磯子区	19.02	166,420	81,962	84,458	75,299	8,750	3,959
金沢区	30.68	200,850	98,443	102,407	87,159	6,547	2,841
港北区	31.37	346,922	175,583	171,339	164,981	11,059	5,259
緑区	25.42	181,165	89,310	91,855	75,592	7,127	2,974
青葉区	35.06	310,499	151,240	159,259	126,484	8,856	3,608
都筑区	27.88	212,170	106,021	106,149	81,361	7,610	2,918
戸塚区	35.70	275,996	135,385	140,611	114,614	7,731	3,210
栄区	18.55	121,362	59,299	62,063	50,971	6,542	2,748
泉区	23.56	153,690	75,190	78,500	61,240	6,523	2,599
瀬谷区	17.11	124,197	60,640	63,557	50,774	7,259	2,968

※ 面積については、小数点以下第3位を四捨五入しているため、個々の数を合計しても必ずしも合計に一致しない。(企画課)

※ 平成27年の世帯数及び人口は、平成27年国勢調査人口等基本集計結果(確定値)に基づき推計人口を再集計し、平成28年11月8日に更新したものである。

※ 平成28年の世帯数及び人口は、平成27年国勢調査結果(確定値)を基に本市で推計したものである。

## 条例・規則等の制定・改廃

平成28年

公布年月日 (施行・適用年月日)	種類・番号	題 名	制定・改廃の理由及び内容要旨
28. 1. 5	消防局公告 第 1 号	横浜消防出初式2016におけるサイレン吹鳴の公告	出初式において消防隊等のサイレンを用いることについての公告
28. 1. 29 (28. 2. 22)	消防局達第 1 号	消防署組織規程の一部改正	南消防署中村町消防出張所の廃止及び南消防署本署の移転並びに南消防署蒔田消防出張所の開設に伴う一部改正
28. 1. 29 (28. 2. 22)	消防局達第 2 号	本署、出張所受持区域規程の一部改正	南消防署中村町消防出張所の廃止及び南消防署本署の移転並びに南消防署蒔田消防出張所の開設に伴う一部改正
28. 1. 29 (28. 2. 8) (28. 2. 22)	消防局達第 3 号	警防規程の一部改正	ミニ消防隊を増強すること及び消防出張所の再編により消防隊等を配置換えすることに伴う一部改正
28. 2. 25 (28. 4. 1)	横浜市条例 第18号	横浜市火災予防条例の一部改正	甲種防火管理講習等の受講手数料の納付方法の改正及びグリドル付コンロの流通に対応するため省令が改正されたことに伴う一部改正
28. 3. 25	消防局公告 第 2 号	平成28年度消防長が行う講習の開催についての公告	平成28年度消防長が行う講習の開催についての公告
28. 3. 17 (28. 4. 1)	消防局達第 4 号	火災等調査規程の一部改正	行政不服審査法の改正により審査請求できる期間及び審査庁が変更になったことに伴う一部改正
28. 3. 23 (28. 4. 1)	消防局達第 5 号	救急規程の一部改正	救急車同乗研修の実施対象者の拡大及び所要の整備に伴う一部改正
28. 3. 25 (28. 4. 1)	横浜市規則 第35号	横浜市消防団ごとの定員を定める規則の一部改正	市長が特に必要と認める場合に、消防団員の定員の範囲内で期間を限って定員を増減することができる旨の規定の追加に伴う一部改正
28. 3. 25 (28. 4. 1)	消防局達第 6 号	横浜市火災予防査察及び違反是正措置に関する規定の一部改正	行政不服審査法の改正により審査請求できる期間及び審査庁が変更になったことに伴う一部改正
28. 3. 25 (28. 4. 1)	消防局達第 7 号	行政不服審査処理規程の廃止	行政不服審査法の改正により審査請求できる期間及び審査庁が変更になったことに伴う廃止
28. 3. 25 (28. 4. 1)	消防局達第 8 号	横浜市消防訓練礼式等に関する規程の一部改正	女子職員の服制及び職域拡大の観点から、国の基準と整合を図るための一部改正
28. 3. 25 (28. 4. 1)	消防局達第 9 号	消防災害通信取扱規程の一部改正	消防救急無線のデジタル化による災害通信施設及び無線運用の変更に伴う一部改正
28. 3. 25 (28. 4. 1)	消防局達第10号	横浜市消防団員の被服等に関する規程の一部改正	消防団員服制基準との整合を図るための一部改正

28. 3. 28 (28. 4. 1)	消防局達第11号	警防計画策定基準の一部改正	消防法施行令及び消防法施行規則の施行により、防火対象物に対するスプリンクラー設備設置基準が変更されることに伴う一部改正
28. 3. 28 (28. 4. 1)	消防局達第12号	横浜市消防局管財総括主任等設置規程等の一部改正	平成28年度機構改革に伴う関係規程の一部改正
28. 3. 30 (28. 4. 1)	消防局達第13号	横浜市消防吏員の被服等に関する規程の一部改正	市民防災センタースタッフ服装の追加並びに夏活動服、航空服及び航空帽の形状の変更等に伴う一部改正
28. 3. 30 (28. 4. 1)	消防局達第14号	横浜市消防局建築防火事務処理規程の一部改正	建築基準法、建築基準法施行令及びマンションの建替えの円滑化等に関する法律の改正に伴う一部改正
28. 3. 31 (28. 4. 1)	横浜市規則 第68号	横浜市民防災センター設置規則の一部改正	近年の大災害から得られた教訓を事務内容に反映するとともに、市民の自助及び共助の取組を促進する本市の中核的な施設として位置付けることに伴う一部改正
28. 3. 31 (28. 4. 1)	消防局達第15号	横浜市消防職員の隔日勤務等に関する規程の一部改正	消防出張所消防第一係付で毎日勤務を命ぜられている再任用短時間勤務職員に関する所要の整備に伴う一部改正
28. 3. 31 (28. 4. 1)	消防局達第16号	横浜市消防局再任用短時間勤務職員の勤務時間等に関する規程の一部改正	新たに特定勤務者の勤務時間を規定するとともに、勤務時間の明確化を図ることに伴う一部改正
28. 3. 31 (28. 4. 1)	消防局達第17号	横浜市消防局車両等安全運行管理規程の一部改正	消防職員の交通事故の報告基準の変更及び車両点検時に用いる安全基準の改正等に伴う一部改正
28. 3. 31 (28. 4. 1)	消防局達第18号	横浜市消防局、消防署係設置規程の一部改正	平成28年度機構改革により消防署庶務課に消防団係を加えることに伴う一部改正
28. 5. 24 (28. 6. 1)	消防局達第19号	横浜市消防局建築防火事務処理規程の一部改正	建築基準法施行令第129条が第128条の5に改正されたことに伴う一部改正
28. 5. 25 (28. 6. 1)	横浜市規則 第76号	横浜市火災予防規則の一部改正	建築基準法施行令及び地方自治法施行令の一部を改正する政令の施行に伴う一部改正
28. 7. 5	消防局公告 第5号	消防法に基づく措置命令の公告及び掲示板への公示	消防法に基づく措置命令の公告
28. 8. 29 (28. 10. 17)	消防局達第20号	本署、出張所受持区域規程の一部改正	泉区における町区域の設定及びこれに係る字区域の廃止に伴う一部改正
28. 9. 14 (28. 10. 3)	消防局達第21号	警防規程の一部改正	配置となる救急隊3隊（緑増強救急隊、仲町台救急隊、栄増強救急隊）の増強に伴う一部改正
28. 9. 23 (28. 10. 1)	横浜市規則 第99号	横浜市火災予防規則の一部改正	本市違反公表制度において、消防局のホームページで公表している内容の追加に伴う一部改正

28. 10. 25	消防局公告 第6号	市有財産への飲料自動販売機の設置に伴う一般競争入札の執行及び入札公告	市有財産への飲料自動販売機の設置に伴う公告
28. 12. 19 (29. 1. 4)	消防局達第22号	横浜市消防局応急手当普及啓発規程の一部改正	応急手当の普及啓発活動の推進に関する実施要綱の一部改正に伴う一部改正
28. 12. 22 (29. 1. 4)	横浜市条例 第73号	横浜市火災予防条例の一部改正	消防長が指定する道路又は鉄道の用に供するトンネルの設置について、新たに横浜市火災予防条例第75条の2の届出対象の追加に伴う一部改正

(企画課)

# 庁舎施設

## ■ 現有消防庁舎の建設年月日

平成28年度

	竣工年月日	庁舎名	構造	摘要		竣工年月日	庁舎名	構造	摘要
1	S39. 3. 6	神奈川県消防署	RC	総合庁舎	53	S57. 3. 31	鳥が丘出張所	RC	
2	S43. 3. 31	末吉出張所	〃		54	S58. 2. 4	岡津出張所	〃	
3	S44. 10. 20	保土ヶ谷消防署	〃	総合庁舎	55	S58. 3. 31	横浜市民防災センター	SRC	
4	S44. 10. 20	消防局	〃	〃	56	S58. 3. 31	日吉出張所	RC	
5	S45. 3. 31	本陣出張所	〃		57	S58. 3. 31	阿久和出張所	〃	
6	S46. 3. 31	富岡出張所	〃	宿舎併設	58	S58. 3. 31	東戸塚出張所	〃	
7	S46. 3. 31	都岡出張所	〃	〃	59	S58. 6. 15	洋光台出張所	〃	
8	S46. 7. 15	栄消防署	〃	地区センター併設	60	S59. 3. 29	芹が谷出張所	〃	
9	S46. 9. 30	旭消防署	〃	総合庁舎	61	S59. 3. 31	六浦出張所	〃	
10	S47. 7. 17	西谷出張所	〃		62	S59. 3. 31	山元町出張所	〃	
11	S48. 3. 31	元石川出張所	〃		63	S59. 3. 31	鴨志田出張所	〃	
12	S49. 10. 21	戸塚消防署	〃		64	S59. 3. 31	白山出張所	〃	
13	S49. 11. 30	今井出張所	〃		65	S60. 3. 5	入船出張所	〃	
14	S50. 1. 9	大黒町出張所	〃		66	S60. 3. 30	幸浦出張所	〃	
15	S50. 1. 20	六ツ川出張所	〃		67	S60. 3. 30	市沢出張所	〃	
16	S50. 2. 14	豊田出張所	〃		68	S60. 3. 30	鶴見水上出張所	〃	
17	S50. 3. 31	中田出張所	〃		69	S61. 3. 10	北方出張所	〃	
18	S50. 3. 31	鴨居出張所	〃		70	S61. 3. 31	佐江戸出張所	〃	
19	S51. 3. 18	消防訓練センター	〃		71	S61. 5. 31	消防司令センター	SRC	
20	S51. 3. 31	野庭出張所	〃		72	S62. 3. 31	今宿出張所	RC	
21	S51. 3. 31	川和出張所	〃		73	S63. 3. 31	鶴見消防署	SRC	総合庁舎
22	S51. 3. 31	篠原出張所	〃		74	S63. 3. 31	すすき野出張所	RC	
23	S51. 6. 22	中消防署	〃		75	H元. 3. 31	能見台出張所	〃	
24	S52. 3. 31	寺尾出張所	〃		76	H元. 3. 31	大正出張所	〃	
25	S52. 3. 31	片倉出張所	〃		77	H2. 3. 31	深谷出張所	〃	
26	S52. 3. 31	港南台出張所	〃		78	H3. 12. 11	小机出張所	〃	
27	S52. 9. 30	西消防署	〃		79	H5. 1. 31	緑園出張所	SRC	宿舎併設
28	S53. 3. 31	浅間町出張所	〃		80	H5. 11. 19	杉田出張所	〃	〃
29	S53. 3. 31	東富岡出張所	〃		81	H6. 1. 31	山下町出張所	〃	研修所併設
30	S53. 3. 31	高田出張所	〃		82	H6. 3. 31	権太坂出張所	〃	宿舎併設
31	S53. 9. 25	下瀬谷出張所	〃		83	H6. 9. 30	青葉消防署	RC	
32	S53. 9. 30	港北消防署	〃	総合庁舎	84	H7. 3. 31	都筑消防署	SRC	総合庁舎
33	S54. 3. 31	吉田出張所	〃		85	H8. 10. 15	泉消防署	〃	〃
34	S54. 3. 31	松見出張所	〃		86	H9. 1. 31	境之谷出張所	〃	宿舎併設
35	S54. 8. 16	生麦出張所	〃		87	H9. 3. 31	荏田出張所	RC	
36	S54. 9. 30	矢向出張所	〃		88	H11. 3. 23	本牧和田出張所	SRC	宿舎併設
37	S55. 3. 15	大岡出張所	〃		89	H12. 2. 29	仲町台出張所	〃	〃
38	S55. 3. 31	上郷出張所	〃		90	H14. 1. 31	磯子消防署	〃	
39	S55. 3. 31	浦島出張所	〃		91	H15. 1. 31	駒岡出張所	〃	宿舎併設
40	S55. 3. 31	綱島出張所	〃		92	H16. 12. 10	救急救命士養成所	RC	〃
41	S55. 9. 30	南本宿出張所	〃		93	H18. 10. 31	北山田出張所	〃	〃
42	S56. 3. 31	いずみ野出張所	〃		94	H23. 7. 22	青葉台出張所	SRC	宿舎、駐輪場、 保育所等併設
43	S56. 3. 31	上永谷出張所	〃						
44	S56. 3. 31	新羽出張所	〃		95	H23. 11. 30	奈良良出張所	RC	
45	S56. 3. 31	岸谷出張所	〃		96	H24. 1. 31	瀬谷消防署	SRC	総合庁舎
46	S56. 8. 17	菅田出張所	〃		97	H24. 3. 26	長津田出張所	RC	
47	S56. 10. 19	中瀬谷出張所	〃		98	H26. 7. 31	緑消防署	RC	
48	S57. 2. 27	横浜へりポート	〃		99	H28. 1. 22	南消防署	CFT	総合庁舎
49	S57. 3. 31	さちが丘出張所	〃		100	H28. 1. 29	金沢消防署	CFT	総合庁舎
50	S57. 3. 31	若葉台出張所	〃		101	H28. 2. 16	蒔田出張所	RC	
51	S57. 3. 31	釜利谷出張所	〃		102	H29. 2. 28	港南消防署	CFT	総合庁舎
52	S57. 3. 31	十日市場出張所	〃						

(施設課)

■ 消防庁舎の現況

平成28年度

名 称	所 在 地	建 物			敷地面積 (㎡)	竣 工 年 月 日	開 設 年 月 日
		種 別	構 造	面 積 (㎡)			
				( ) : 所管外面積	( ) : 前庁舎データ		
消 防 局 局 庁 舎 (保土ヶ谷区 総合庁舎)	保土ヶ谷区 川辺町 2番地の9	事 務 所	RC造地下1階地 上7階塔屋1階建 のうち4～7F	( 4,260.47 )	市民局 ( 9,829.45 )  (耐震補強工事: H12. 3.30)	S44.10.20	S44.10.20 ( S23. 3. 7 )
		車庫・倉庫	RC造(消防棟) 2階塔屋1階建	( 874.51 )			
		事 務 所	〃	( 115.50 )			
消 防 司 令 セ ン タ ー		事 務 所 司 令 室 機 械 室 駐 車 場	SRC造5階建	2,919.80		S61. 5.31	S62. 4. 1
			合 計	( 5,250.48 ) 2,919.80	( 9,829.45 )		
消 防 職 員 待 機 宿 舎							
駒 岡 寮 (出張所 併設庁舎)	鶴見区 駒岡 二丁目18番8号	居 住	SRC造5階建 のうち3～5F	780.58	駒岡消防 出張所に含む。	H15. 1.31 ( S.46 3.31 )	H15. 1.31 ( S.46 7. 1 )
境 之 谷 寮 ( 〃 )	西区 境之谷 66番地	〃	SRC造6階建 のうち3～6F	1,110.00	境之谷消防 出張所に含む。	H 9. 1.31 ( S.41 8. 9 )	H 9. 2.26 ( S.41 8.16 )
本 牧 和 田 寮 ( 〃 )	中区 本牧和田 34番19号	〃	〃	1,428.12	本牧和田消防 出張所に含む。	H11. 3.23	H11. 4. 1
中 村 町 寮 (救急救命士養 成所併設庁舎)	南区 中村町 4丁目270番地の3	〃	RC造5階建 のうち3～5F	1,774.21	救急救命士 養成所に含む。 (耐震補強工事: H16.12.10)	H16.12.10 (横浜市立大学から所管換)	H17. 1. 1
権 太 坂 寮 (出張所 併設庁舎)	保土ヶ谷区 権太坂 三丁目12番6号	〃	SRC造4階建 のうち2～4F	596.55	権太坂消防 出張所に含む。	H 6. 3.31	H 6. 4. 5
都 岡 寮 ( 〃 )	旭区 川井宿町 4番地の1	〃	RC造5階建 のうち3～5F	457.92	都岡消防 出張所に含む。 (耐震補強工事: H17. 3.31)	S47. 3.31 (待機宿舎増築)	S47. 7. 5
杉 田 寮 ( 〃 )	磯子区 中原 一丁目1番9号	居 住	SRC造地下1階 地上6階建のうち 3～6F	716.14	杉田消防 出張所に含む。	H 5.11.19	H 5.11.19
富 岡 寮 ( 〃 )	金沢区 富岡西 一丁目74番2号	〃	RC造3階建 のうち2～3F	578.66	富岡消防 出張所に含む。 (耐震補強工事: H11. 4.28)	S47. 3.31 (待機宿舎増築)	S47. 8. 5
青 葉 台 寮 ( 〃 )	青葉区 青葉台 一丁目4番地	〃	SRC造地下1階 地上5階建のうち 3F	477.19	青葉台消防 出張所に含む。	H23. 7.22	H23. 7.27
仲 町 台 寮 ( 〃 )	都筑区 仲町台 五丁目1番46号	〃	SRC造5階建 のうち3～5F	880.10	仲町台消防 出張所に含む。	H12. 2.29	H12. 4. 1
北 山 田 寮	都筑区 北山田 一丁目1番66号	〃	RC造5階建 のうち3～5F	685.80	北山田消防 出張所に含む。	H18.10.31	H18.11.15
緑 園 寮 ( 〃 )	泉区 緑園 四丁目6番地の2	〃	SRC造4階建 のうち3～4F	561.76	緑園消防 出張所に含む。	H 5. 1.31	H 5. 2.10
			合 計	10,047.03			

名 称	所 在 地	建 物			敷地面積 (㎡)	竣 工 年 月 日	開 設 年 月 日
		種 別	構 造	面 積 (㎡)			
消 防 訓 練 セ ン タ ー	戸塚区 深谷町 777番地	事 務 所	R C造3階建	1,926.36	54,093.58 (耐震補強工事：H10. 1.31)	S51. 3.18	S51. 4. 1
		宿 舎	〃	1,666.11		〃	
		機 械 室	R C造平屋建	99.20		〃	
		渡り廊下	鉄骨造平屋建	62.16		〃	
		浄化槽建家	R C造平屋建	70.00		〃	
		屋内訓練場	〃	1,328.06		S52. 1.22	
		渡り廊下	鉄骨造平屋建	154.80		〃	
		車庫兼実務 訓練棟	R C造平屋建	333.70		〃	
		変電室	〃	48.00		〃	
		器具庫	鉄骨造平屋建	58.80		〃	
		訓練棟	R C造地下1 階地上8階建	625.67		S53. 3.27	
		補助訓練棟	鉄骨造16.55m			〃	
		消火訓練場 排水処理場	鉄骨造平屋建	8.23		S53. 6.30	
		消火訓練場 資機材倉庫	鉄骨造平屋建	131.87			
		水難救助訓 練場附属室	〃	76.15		S54. 3.31	
		ポンプ室	R C造平屋建	39.00		〃	
		潜水訓練塔	鉄骨造6.00m			〃	
		鋼板プール	50m×15m			〃	
		会議室棟	鉄骨造平屋建	135.00		S57. 3.31	
		渡り廊下	〃	14.85		〃	
		倉庫 (ポンベ保管用)	ブロック造平屋建	19.80		S62. 3.31	
		倉庫	軽量鉄骨造	182.72		H元. 3.31	
		車庫	〃	71.28		〃	
		空気ポンベ 充てん施設	R C造平屋建	13.76		H 2. 3.31	
		消火訓練棟	鉄骨造2階建	191.52		H10. 3.31	
		情報処理 訓練棟	鉄骨造平屋建	233.59		〃	
				合 計		7,490.63	
横 浜 市 救 急 救 命 士 養 成 所	南区 中村町 4丁目270番地の3	消 防 施 設	R C造5階建の うち1～2F	744.47	2,017.85 (横浜市立大学から所管換) (耐震補強工事：H16.12.30)	H16.12.10	H17. 3. 8
			合 計	744.47		2,017.85	
横 浜 ヘ リ ポ ー ト	金沢区 福浦 三丁目2番地	事 務 所	R C造2階建	1,324.83	28,800.00  港湾局 ( 299.68 )	S57. 2.27	S57. 4. 1
		油 脂 庫	C B造平屋建	8.70		〃	
		給油施設付 属ポンプ室	R C造平屋建	9.75		H 9. 3.31	
		地下タンク	1万ℓ×4基			〃	
		航空燈火 進入路 (トンネル)	64基92灯 R C造21m			S56. 3.31	
		合 計	1,343.28	28,800.00			
横 浜 市 民 防 災 セ ン タ ー	神奈川区 沢渡 4番地の7	消 防 施 設	S R C造3階建	3,406.30	3,000.00	S58. 3.31	S58. 4. 1
		展 示 室	一部R C造2階建				
		訓 練 室					
		研 修 室					
備 蓄 室							
そ の 他							
油 脂 庫	R C造平屋建	7.42	〃				
		合 計	3,413.72	3,000.00			



名 称	所 在 地	建 物			敷地面積 (㎡)	竣 工 年 月 日	開 設 年 月 日
		種 別	構 造	面 積 (㎡)			
鶴 見 消 防 署 本 署 (鶴見区 総合庁舎) 末 吉 大 黒 町 入 船 矢 向 寺 尾 岸 谷 生 麦 駒 岡 (待機宿舎 併設庁舎) 鶴 見 水 上	鶴見区 鶴見中央 三丁目20番1号	事 務 所	SRC造地下1階 地上6階塔屋1階 建のうち1～3F	( 1,949.34 )	市民局 ( 5,885.20 )	S63. 3.31	S63. 4. 1 ( S 3. 4. 1 )
	鶴見区 下末吉 2丁目1番地の3	"	RC造2階建	439.37	445.76	S43. 3.31	S43. 4. 1
	鶴見区 大黒町 4番67号	事 務 所	RC造2階建	440.57	800.00	S50. 1. 9	S50. 1. 9
	鶴見区 弁天町 10番地の3	機 械 室	ブロック造平屋建	7.48			( S20. 9.15 )
	鶴見区 弁天町 10番地の3	事 務 所	RC造2階建	479.43	1,224.22	S60. 3. 5	S60. 3. 5 ( S20. 4.15 )
	鶴見区 矢向 三丁目30番13号	"	"	411.15	641.73	S54. 9.30	S54.10. 1 ( S20. 2. 1 )
	鶴見区 北寺尾 四丁目24番15号	"	RC造平屋建	434.98	981.79	S52. 3.31	S52. 4. 1 ( S22.12.13 )
	鶴見区 岸谷 二丁目13番18号	"	RC造2階建	453.60	668.41	S56. 3.31	S56. 4. 1 ( S25. 9.29 )
	鶴見区 鶴見中央 五丁目12番17号	"	"	420.02	1,322.37	S54. 8.16	S54. 8.16 ( S26.10.24 )
	鶴見区 駒岡 二丁目18番8号	"	SRC造5階建 のうち1～2F	620.74	755.11	H15. 1.31	H15. 2. 3 ( S46. 3.31 )
	鶴見区 大黒ふ頭 1番地	"	RC造2階建	501.44	港湾局 ( 1,000.01 )	S60. 3.30	S60. 4.19 ( S27. 9.27 )
				合 計	( 1,949.34 ) 4,208.78	( 6,885.21 ) 6,839.39	
神 奈 川 消 防 署 本 署 (神奈川区 総合庁舎) 浦 島 菅 田 片 倉 松 見	神奈川区 広台太田町 3番地の8	事 務 所	RC造地下1階 地上5階塔屋3階 建のうち1、5F	( 1,219.00 )	市民局 ( 3,265.10 )	S39. 3. 6	S39. 3. 6 ( T15. 7. 1 )
	神奈川区 浦島町 363番地	"	RC造2階建	523.00	663.39	S55. 3.31	S55. 4.10
	神奈川区 菅田町 2364番地の1	"	"	485.70	864.69	S56. 8.17	S56. 8.17 ( S39. 4. 4 )
	神奈川区 片倉 一丁目3番1号	"	RC造2階建	438.08	1,088.85	S52. 3.31	S52. 5.20
	神奈川区 松見町 一丁目40番地の40	プロパン庫 事 務 所	RC造平屋建 "	4.00 436.25	1,126.01	S54. 3.31	S54. 5.31
			合 計	( 1,219.00 ) 1,887.03	( 3,265.10 ) 3,742.94		
西 消 防 署 本 署 浅 間 町 境 之 谷 (待機宿舎 併設庁舎)	西区 戸部本町 50番11号	事 務 所	RC造3階建	2,013.35	2,403.52 (耐震補強工事: H10.10.31)	S52. 9.30	S52.10.12 ( T 8. 9. 1 )
	西区 浅間町 4丁目339番地の13	"	RC造2階建	532.75	759.27	S53. 3.31	S53. 5.31 ( T 9.11. 1 )
	西区 境之谷 66番地	"	SRC造6階建 のうち1～2F	582.62	1,288.33	H 9. 1.31	H 9. 2.26 ( S41. 8.16 )
			合 計	3,128.72	4,451.12		

名 称	所 在 地	建 物			敷地面積 (㎡)	竣 工 年 月 日	開 設 年 月 日
		種 別	構 造	面 積 (㎡)			
<b>中 消 防 署</b>							
本 署 山 下 町 (研修センター 併設庁舎)	中区 山吹町 2番地の2	事 務 所	R C造6階建	2,497.98	798.05 (耐震補強工事: H10. 7.31)	S51. 6.22 H10. 7.31	S51. 6.22 ( T 8. 9. 1 )
北 方 山 元 町	中区 山下町 72番地の1	”	S R C造地下2階 地上7階建のうち B 1～2 F	1,083.61	758.63	H 6. 1.31	H 6. 2.28 ( T 8. 9. 1 ) ( S20. 9.15 )
本 牧 和 田 (待機宿舎 併設庁舎)	中区 本牧十二天 2番29号	”	R C造2階建	504.38	1,000.01	S61. 3.10	S61. 3.12 ( T 9.11.10 )
	中区 山元町 5丁目219番地の5	”	”	483.90	1,003.99	S59. 3.31	S59. 4. 6
	中区 本牧和田 34番12号	”	S R C造6階建 のうち1～2 F	998.17	1,499.97	H11. 3.23	H11. 4. 1
			合 計	5,568.04	5,060.65		
<b>南 消 防 署</b>							
本 署 (南区 総合庁舎)	南区 浦舟町 2丁目33番地	事 務 所	C F T造一部R C造 地下1階地上7階建 のうち1～3 F	( 2,103.29 )	市民局 ( 7,476.66 )	H28. 1.22	H28. 2. 22 ( S49. 4. 1 )
蒔 田	南区 宿町 3丁目54番地5	事 務 所	R C造一部S造地上 3階建	768.41	572.21	H28. 2.16	H28. 2.22 ( S55. 4.15 )
大 岡	南区 大岡 四丁目7番15号	事 務 所	R C造2階建	555.69	1,249.15	S55. 3.15	S55. 4. 1 ( S10. 4. 1 )
六 ツ 川	南区 六ツ川 一丁目693番地の1	”	”	561.92	(耐震補強工事: H15. 3.14) 1,043.64 (耐震補強工事: H14. 3.15)	S50. 1.20	S50. 1.20
			合 計	( 2,103.29 )	( 7,476.66 )		
				1,886.02	2,865.00		
<b>港 南 消 防 署</b>							
本 署 (港南区 総合庁舎)	港南区 港南 四丁目2番10号	事 務 所	鉄骨造一部C F T柱、 鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階地上8階 のうち1～3 F	( 2,154.55 )	市民局 ( 5,077.61 )	H29. 2.28	H29. 3.21
芹 が 谷	港南区 芹が谷 一丁目11番15号	事 務 所	R C造2階建	482.79	1,004.56	S59. 3.29	S59. 3.30 ( S40. 6.16 )
野 庭	港南区 野庭町 638番地の2	”	”	436.35	1,005.79	S51. 3.31	S51. 4.16
港 南 台	港南区 港南台 八丁目4番12号	”	”	437.86	3,324.86	S52. 3.31	S52. 6.15
上 永 谷	港南区 丸山台 三丁目6番1号	空 気 ポ ン ベ 充 て ん 施 設 事 務 所	R C造平屋建	55.00		H 2. 3.31	
		”	”	451.26	1,055.13	S56. 3.31	S56. 5.25
			合 計	( 2,154.55 )	( 5,077.61 )		
				1,863.26	6,390.34		

名 称	所 在 地	建 物			敷地面積 (㎡)	竣 工 年 月 日	開 設 年 月 日
		種 別	構 造	面 積 (㎡)			
保 土 ヶ 谷 消 防 署 本 署 (保土ヶ谷区 総合庁舎)	保土ヶ谷区 川辺町 2番地の9	事 務 所	R C造 (消防棟) 2階建塔屋1階建	( 1,142.65 )	市民局  (耐震補強工事 : H10. 6.30 )	S44.10.20	S44.10.20 ( S18.12.24 )
		旧 公 舎	"	( 165.00 )			
西 谷	保土ヶ谷区 西谷町 742番地	事 務 所	R C造平屋建	434.26	1,453.51	S47. 7.17	S47. 7.28
今 井	保土ヶ谷区 今井町 17番地の6	プロパン庫	ブロック造平屋建	4.35			
本 陣	保土ヶ谷区 保土ヶ谷町 1丁目77番地	事 務 所	R C造2階建	552.17	942.00	S49.11.30	S49.12.10
		プロパン庫	"	1.98			
権 太 坂 (待機宿舎 併設庁舎)	保土ヶ谷区 権太坂 三丁目12番6号	事 務 所	"	462.11	502.14	S45. 3.31	S45. 4. 1 ( S18. 2. 9 )
		"	S R C造4階建 のうち1～2 F	534.99			
			合 計	( 1,307.65 ) 1,989.86	3,945.98		
<b>旭 消 防 署</b>							
本 署 (旭区 総合庁舎)	旭区 鶴ヶ峰 一丁目4番地の12	事 務 所	R C造6階塔屋 1階建のうち 1～3 F	( 1,177.70 )	市民局 ( 5,626.62 ) (耐震補強工事 : H15. 3.31 )	S46. 9.30	S46.10. 1
		"	R C造2階建	479.68			
さ ち が 丘	旭区 さちが丘 45番地の2	"	"	693.94	1,062.61	S46. 3.31	( S37. 6.20 ) S46. 5.28
都 岡 (待機宿舎 併設庁舎)	旭区 川井宿町 4番地の1	"	R C造5階建 のうち1～2 F	450.91			
南 本 宿	旭区 南本宿町 26番地の7	"	R C造平屋建	487.53	1,041.47	S55. 9.30	S55.10.21
若 葉 台	旭区 若葉台 三丁目1番1号	"	R C造2階建	484.76	978.50	S57. 3.31	S57. 4.24
市 沢	旭区 市沢町 335番地の13	"	"	481.72	969.85	S60. 3.30	S60. 4.25
今 宿	旭区 今宿 二丁目33番10号	"	"	3,078.54	1,030.64	S62. 3.31	S62. 4.20
			合 計	( 1,177.70 ) 3,078.54	( 5,626.62 ) 6,468.76		
<b>磯 子 消 防 署</b>							
本 署 (待機宿舎 併設庁舎)	磯子区 磯子 二丁目1番3号	事 務 所	S R C造4階建	2,496.06	1,640.75	H14. 1.31	H14. 2. 4 ( S32.11.12 )
		"	S R C造地下1階 地上6階建のうち 1～2 F	511.09			
杉 田 (待機宿舎 併設庁舎)	磯子区 中原 一丁目1番9号	"	"	476.52	1,059.20	S58. 6.15	S58. 6.23
洋 光 台	磯子区 洋光台 三丁目37番41号						
			合 計	3,483.67	3,261.93		

名 称	所 在 地	建 物			敷地面積 (㎡)	竣 工 年 月 日	開 設 年 月 日
		種 別	構 造	面 積 (㎡)			
<b>金 沢 消 防 署</b>							
本 署 (金沢区 総合庁舎)	金沢区 泥亀 二丁目9番1号	事 務 所	CFT造一部S造 地上8階建のうち 1～3F	( 2,155.47 )	市民局 ( 7,150.51 )	H28. 1.29	H28. 2.29 ( S46. 4.26 )
東 富 岡	金沢区 富岡東 三丁目16番17号	事 務 所	RC造2階建	441.54	917.03	S53. 3.31	S53. 4. 1 ( S20.12. 7 )
六 浦	金沢区 六浦 五丁目8番12号	〃	〃	480.61	670.93	S59. 3.31	S59. 4. 3 ( S21. 7. 5 )
富 岡 (待機宿舎 併設庁舎)	金沢区 富岡西 一丁目74番2号	〃	RC造4階建 のうち1～2F	476.39	1,001.08 (待機宿舎増築：S47. 3.31) (耐震補強工事：H11. 4.28)	S46. 3.31	S46. 4.30
釜 利 谷	金沢区 釜利谷南 三丁目22番2号	〃	RC造2階建	479.98	1,084.73	S57. 3.31	S57. 4.21
幸 浦	金沢区 幸浦 二丁目1番の5	〃	〃	481.95	1,000.01	S60. 3.30	S60. 4. 5
能 見 台	金沢区 能見台 五丁目28番地の1	〃	〃	478.74	1,234.64	H元. 3.31	H元. 4. 5
合 計				( 2,155.47 ) 2,839.21	( 7,150.51 ) 5,908.42		
<b>港 北 消 防 署</b>							
本 署 (港北区 総合庁舎)	港北区 大豆戸町 26番地の1	事 務 所	RC造地下1階 地上4階建のうち 1～2F	( 1,685.52 )	市民局 ( 9,562.02 ) (耐震補強工事：H21. 2.19)	S53. 9.30	S53. 9.30 ( S26. 7.16 )
綱 島	港北区 綱島西 三丁目3番9号	〃	RC造2階建	453.33	707.43	S55. 3.31	S55. 4. 1 ( S37. 6.20 )
日 吉	港北区 箕輪町 一丁目1番8号	〃	〃	481.84	745.35	S58. 3.31	S58. 4.11 ( S38. 8.11 )
篠 原	港北区 篠原町 1312番地の2	〃	RC造平屋建	434.67	1,322.34 (耐震補強工事：H14. 3.15)	S51. 3.31	S51. 4.30
高 田	港北区 高田西 二丁目21番1号	〃	〃	459.81	1,098.57	S53. 3.31	S53. 5.25
新 羽	港北区 新羽町 2357番地の2	〃	〃	453.62	1,000.02	S56. 3.31	S56. 4.25
小 机	港北区 小机町 1711番地の1	〃	RC造2階建	504.96	990.35	H 3.12.11	H 3.12.12
合 計				( 1,685.52 ) 2,788.23	( 9,562.02 ) 5,864.06		
<b>緑 消 防 署</b>							
本 署 (市民活動支援 センター合築)	緑区 中山町 93番地1	事 務 所	RC造一部S造 3階一部平屋建て のうち3階建て部分	2,275.17	# 2,286.73	H27. 7.31	H27. 8.11
十 日 市 場	緑区 十日市場町 816番地の7	事 務 所	RC造2階建	482.39	1,154.80	S57. 3.31	S57. 5.24
長 津 田	緑区 長津田 二丁目10番4号	空 気 ボンベ 充てん施設 事 務 所	RC造平屋建	52.26		S63. 2. 5	
鴨 居	緑区 鴨居 一丁目3番21号	〃	RC造2階建	436.35	1,497.06	H24. 3.26	H24. 3.28
白 山	緑区 白山 四丁目73番2号	プ ロ バ ン 庫 事 務 所	ブロック造平屋建	3.04		S50. 3.31	S50. 5. 9
			RC造2階建	482.39	1,097.98	S59. 3.31	S59. 4.11
合 計				4,581.63	9,458.29		

名 称	所 在 地	建 物			敷地面積 (㎡)	竣 工 年 月 日	開 設 年 月 日
		種 別	構 造	面 積 (㎡)			
<b>青 葉 消 防 署</b>							
本 署	青葉区 市ヶ尾町 33番地の1	事 務 所	R C造3階建	2,373.83 ( 用水路, 国有地 )	2,424.58 75.42 )	H 6. 9. 30	H 6. 11. 6
青 葉 台 (待機宿舎併設)	青葉区 青葉台 一丁目4番地	"	S R C造地下1階 地上5階建のうち B 1～2 F	903.43	1,164.26	H23. 7. 22	H23. 7. 27
元 石 川	青葉区 美しが丘 四丁目12番地	"	R C造2階建	441.44	1,000.00	S48. 3. 31	S48. 6. 28
鴨 志 田	青葉区 鴨志田町 823番地	"	"	482.52	1,006.57	S59. 3. 31	S59. 4. 21
す す き 野	青葉区 すすき野 一丁目1番7号	"	"	485.60	1,000.00	S63. 3. 31	S63. 4. 14
荏 田	青葉区 荏田町 491番地の9	"	"	580.00	999.18	H 9. 3. 31	H 9. 5. 14
奈 良	青葉区 奈良 二丁目37番1号	"	"	809.97	1,000.08	H23. 11. 30	H23. 12. 5
			合 計	6,076.79	( 75.42 ) 8,594.67		
<b>都 筑 消 防 署</b>							
本 署 (都筑区 総合庁舎)	都筑区 茅ヶ崎中央 32番1号	事 務 所	S R C造地下1階 地上6階建のうち 1～2 F	( 3,195.69 )	市民局 ( 18,896.68 )	H 7. 3. 31	H 7. 4. 24
川 和	都筑区 川和町 1221番地	"	R C造2階建	438.50	660.37	S51. 3. 31	S51. 4. 11
佐 江 戸	都筑区 佐江戸町 366番地の4	プロパン庫 事 務 所	C B造平屋建	7.43	"	"	( S14. 11. 24 )
			R C造2階建	482.07	952.55	S61. 3. 31	S61. 4. 8
仲 町 台 (待機宿舎 併設庁舎)	都筑区 仲町台 五丁目1番46号	"	S R C造5階建 のうち1～2 F	621.85	988.05	H12. 2. 29	H12. 3. 21
北 山 田 (待機宿舎 併設庁舎)	都筑区 北山田 一丁目1番66号	"	R C造5階建 のうち1～2 F	743.77	1,168.26	H18. 10. 31	H18. 11. 15
			合 計	( 3,195.69 )	( 18,896.68 ) 3,769.23		
<b>戸 塚 消 防 署</b>							
本 署	戸塚区 戸塚町 4144番地	事 務 所	R C造3階建	1,604.59	2,068.22 (耐震補強工事 : H11. 2. 28 )	S49. 10. 21	S49. 11. 8 ( S23. 3. 7 )
大 正	戸塚区 原宿 三丁目60番1号	"	R C造2階建	481.04	498.80	H元. 3. 31	H元. 4. 1 ( S23. 9. 6 )
吉 田	戸塚区 吉田町 947番地の3	"	R C造平屋建	434.88	1,230.08	S54. 3. 31	S54. 5. 10
鳥 が 丘	戸塚区 鳥が丘 52番地の1	"	R C造2階建	478.89	997.90	S57. 3. 31	S57. 4. 27
東 戸 塚	戸塚区 川上町 87番地の10	"	"	481.00	939.71	S58. 3. 31	S58. 6. 11
深 谷	戸塚区 深谷町 1432番地の2	"	"	489.98	999.96	H 2. 3. 31	H 2. 4. 26
			合 計	3,970.38	6,734.67		

名 称	所 在 地	建 物			敷地面積 (㎡)	竣 工 年 月 日	開 設 年 月 日
		種 別	構 造	面 積 (㎡)			
<b>栄 消 防 署</b>							
本 署 (地区センター 併設)	栄区 桂町 301番地	事 務 所	併設庁舎RC造 5階建のうち 1～3F	1,494.42	市民局 ( 2,547.59 )	S46. 7. 15	S46. 8. 2
豊 田	栄区 飯島町 1443番地	”	RC造2階建	440.05	(耐震補強工事：H 8. 3. 31 ) 1,245.41	S50. 2. 14	S50. 2. 27
		プロパン庫 消毒室兼訓練施設	ブロック造平屋建	3.15	(耐震補強工事：H12. 12. 15 )	H29. 3. 27	H29. 3. 27
		倉 庫	プレハブ造平屋	13.96		H29. 3. 27	H29. 3. 27
上 郷	栄区 上郷町 1431番地の1	事 務 所	RC造2階建	448.66	960.90	S55. 3. 31	S55. 3. 19
			合 計	2,445.38	( 2,547.59 ) 2,206.31		
<b>泉 消 防 署</b>							
本 署 (泉区 総合庁舎)	泉区 和泉町 4636番地の2	事 務 所	SRC造地下1階 地上4階建のうち 1～4F	( 1,976.00 )	市民局 ( 12,893.75 )	H 8.10.15	H 8.11.11 ( S63. 4. 1 )
岡 津	泉区 岡津町 187番地の1	”	RC造2階建	479.34	1,000.12	S58. 2. 4	S58. 2. 9 ( S45. 9. 16 )
中 田	泉区 中田北 3丁目1番1号	”	”	436.35	1,205.99	S50. 3. 31	S50. 5. 7
い ず み 野	泉区 和泉町 6212番地の13	プロパン庫 事 務 所	RC造平屋建	3.04			
			”	452.51	1,000.01	S56. 3. 31	S56. 4. 1
緑 園 (待機宿舎 併設庁舎)	泉区 緑園 4丁目6番地の2	”	SRC造4階建 のうち1～2F	513.01	1,000.00	H 5. 1. 31	H 5. 2. 10
			合 計	( 1,976.00 ) 1,884.25	( 12,893.75 ) 4,206.12		
<b>瀬 谷 消 防 署</b>							
本 署 (瀬谷区 総合庁舎)	瀬谷区 二ツ橋町 190番地	事 務 所	RC造地下1階 地上5階建のうち B 1～2F	( 2,109.24 )	市民局 ( 7,560.00 )	H24. 1. 31	H24. 2. 27
中 瀬 谷	瀬谷区 中屋敷 2丁目16番地の15	”	RC造2階建	452.11	1,058.01	S56.10.19	S56.10.20 ( S24. 5. 12 )
下 瀬 谷	瀬谷区 下瀬谷 2丁目44番地の19	”	”	455.85	1,167.22	S53. 9. 25	S53.10. 2
阿 久 和	瀬谷区 阿久和東 2丁目8番地の29	”	”	484.30	(耐震補強工事：H15. 1. 17 ) 1,066.34	S58. 3. 31	S58. 4. 28
			合 計	( 2,109.24 ) 1,392.26	( 7,560.00 ) 3,291.57		
			総 計	( 26,283.93 ) 81,324.60	( 97,146.30 ) 180,970.88		

(施設課)

■ 消防団施設の現況（市有建物及び市有地）

平成28年度

名 称	所 在 地	建 物		土地 (㎡)	建設・取得 年 月 日
		構 造	面積 (㎡)		
鶴 見 第1分団 第1班	鶴 見 区 大東町 12番地の1	S造平家	9.99		S52. 3. 31
〃 第2分団 第5班	〃 小野町 68番地	S造平家	9.99		S50. 10. 31
〃 第4分団 第3班	〃 生麦 四丁目786番2号			211.58	H12. 11. 1
〃 第5分団 第5班	〃 鶴見中央 四丁目28番6号			76.03	S53. 3. 2
〃 第5分団 第2班	〃 佃野町 7番地	S造平家	34.30		H21. 3. 30
〃 第6分団 第2班	〃 市場下町 11番地	S造2階	39.93		H28. 3. 28
〃 第6分団 第4班	〃 平安町 2丁目9番地の1	S造平家	9.99		S52. 3. 31
〃 第8分団 第4班	〃 獅子ヶ谷 1丁目919番27			58.00	H28. 10. 1
〃 第8分団 第4班	〃 獅子ヶ谷 1丁目920番4			7.05	H28. 10. 1
〃 第8分団 第4班	〃 獅子ヶ谷 1丁目921番7			0.41	H28. 10. 1
〃 第9分団 第1班	〃 矢向 三丁目11番	S造平家	39.87	146.61	H26. 7. 8
〃 第9分団 第4班	〃 矢向町 一丁目14番地の28	S造平家	7.29		S50. 3. 31
神奈川 第1分団 第1班	神奈川区 子安通 2丁目225番地	S造平家	9.99		S52. 3. 31
〃 第1分団 第1班	〃 子安通 1丁目196番地	S造平家	34.30		H21. 3. 30
〃 第1分団 第3班	〃 入江 一丁目31-23	S造平家	31.69	50.00	H25. 2. 1
〃 第2分団 第1班	〃 亀住町 18番地	S造2階	49.98		H29. 3. 31
〃 第2分団 第3班	〃 東神奈川 二丁目23番地の11	S造平家	7.29		S49. 3. 31
〃 第2分団 第8班	〃 柴町 3番地の13			74.85	S55. 7. 1
〃 第3分団 第2班	〃 松本町 5丁目40番地	S造平家	9.99		S51. 3. 31
〃 第4分団 第1班	〃 羽沢町 1001番地の4	S造平家	19.98		S55. 11. 15
〃 第4分団 第2班	〃 菅田町 2408番地の1			58.11	H12. 2. 4
〃 第4分団 第3班	〃 菅田町 805番地	S造平家	19.98	71.12	S58. 1. 31
〃 第6分団 第3班	〃 白幡向町 250番地の1	S造平家	7.29	79.36	S50. 3. 31
〃 第7分団 第2班	〃 六角橋 五丁目781番14			55.09	H27. 12. 17
〃 第8分団 第1班	〃 七島町 153番地	S造平家	7.29	111.09	S48. 3. 31
〃 第5分団 第1班	〃 ニッ谷町 14	S造平家	19.77		H24. 2. 22
西 第4分団 第3班	西 区 西戸部町 2丁目158番地の15			90.36	H14. 12. 12
〃 第4分団 第2班	〃 霞ヶ丘 56番地の5	S造平家	31.27	121.87	H21. 3. 30
〃 第2分団 第2班	〃 西前町 2丁目47番地	S造平家	9.99	21.82	S54. 2. 28
〃 第2分団 第3班	〃 東久保町 69番地	S造2階	39.60		H25. 10. 31
〃 第3分団 第1班	〃 浜松町 9番	S造平家	9.99		S51. 3. 31
〃 第3分団 第4班	〃 浅間町 3丁目177番地の2			49.58	S50. 3. 31
〃 第6分団 第3班	〃 南浅間町 19番地の14	S造平家	16.98	15.37	S41. 6. 30
〃 第1分団 第1班	〃 紅葉ヶ丘 57番地	S造2階	39.76		H26. 8. 28
伊勢佐木 第1分団 第5班	中 区 日の出町 2丁目120番地の2			17.35	H 6. 11. 4
〃 第2分団 第2・3班	〃 弥生町 3丁目29番地	S造平家	21.87		S50. 3. 31
加賀町 第4分団 第1・2班	中 区 新山下 二丁目3番338号			83.94	H15. 11. 12
〃 第1分団 第1・2班	〃 山下町 135番地	S造2階	39.60		H27. 1. 27
山 手 第1分団 第3班	中 区 本牧町 2丁目352番地			20.61	S48. 4. 3
〃 第3分団 第1班	〃 麦田町 1丁目26番地の1	S造平家	9.99		S53. 8. 2
〃 第5分団 第3班	〃 根岸町 2丁目85番地	S造平家	7.29		S48. 3. 31
〃 第6分団 第4・5班	〃 本牧間門 385番地	S造平家	9.99		S52. 3. 31
寿 第2分団 第1班	南 区 高根町 4丁目35番地	S造平家	87.12		H 3. 2. 22
〃 第5分団 本部班	〃 永楽町 2丁目22番地	B造平家	17.01		S50. 3. 31
〃 第7分団 第1・2班	〃 中村町 2丁目120番地の4			150.14	S33. 5. 20
大 岡 第7分団 第2班	南 区 永田北 一丁目16番46号	S造平家	19.98		S59. 2. 1
南 第5分団 第1班	〃 大橋町 3丁目52番地の2			286.92	H14. 4. 1
大 岡 第6分団 第2班	〃 永田東 一丁目1536番60号			65.27	H15. 7. 31
港 南 第3分団 第3班	港 南 区 笹下 5-23	R C造平屋	31.53		H28. 6. 13
〃 第6分団 第2班	〃 下永谷 三丁目2729番5号			174.52	H12. 5. 26
〃 第6分団 第3班	〃 東永谷 一丁目1364番136号			102.59	H14. 11. 11

※名称は公有財産台帳に記載されているものを使用しています。

名 称	所 在 地	建 物		土地 (㎡)	建設・取得 年 月 日
		構 造	面積 (㎡)		
" 第2分団 第3班	" 上大岡西 三丁目15番	S造平家	9.99		S52. 3. 31
" 第4分団 第3班	" 港南台 八丁目39番	S造平家	19.98		S55. 11. 15
" 第5分団 第2班	" 野庭町 224番地	S造平家	9.99		S53. 3. 20
保土ヶ谷 第2分団 第2班	保土ヶ谷区 星川 二丁目450番地の9	S造2階	49.60		H29. 3. 1
" 第2分団 第9班	" 天王町 1丁目8番地の12	S造平家	9.99		S54. 2. 28
" 第3分団 第3班	" 常磐台 282番	S造平家	9.99	87.65	S53. 3. 31
" 第3分団 第6班	" 上星川 二丁目491-5			84.92	H28. 5. 31
旭 第1分団 第1班	旭 区 四季美台 17番地の3	S造2階	55.02	33.85	H29. 2. 28
旭 第1分団 第1班	旭 区 四季美台 17番地14			22.02	H29. 2. 28
" 第2分団 第3班	" 三反田町 159番地の1	S造平家	9.99		S52. 3. 31
" 第2分団 第4班	" 南本宿町 63番地の4	S造平家	19.96		H25. 9. 13
" 第3分団 第2班	" 今宿東町 659番地の4	S造平家	16.20	46.22	S55. 12. 19
" 第3分団 第2班	" 今宿西町 485番地	S造平家	7.29		S49. 3. 31
" 第3分団 第4班	" 上白根町 1569番地の15			45.85	H19. 7. 13
" 第4分団 第2班	" 上川井町 2972番地	S造2階	39.93		H28. 5. 26
" 第4分団 第5班	" 下川井町 2107番地			175.04	H19. 10. 23
" 第5分団 第1班	" 鶴ヶ峰 二丁目99番地の33	S造平家	9.99		S51. 3. 31
" 第5分団 第2・3班	" 西川島町 70番地の6	S造平家	9.99		S54. 1. 31
磯 子 第2分団 第1班	" 岡村 一丁目14番	S造平家	19.98	39.15	S59. 2. 1
" 第2分団 第2班	" 丸山 二丁目1番1号	S造平家	19.98		S55. 12. 30
" 第2分団 第4班	" 滝頭 三丁目1番42号	S造2階	43.20		H28. 12. 14
" 第4分団 第2班	" 森 四丁目1402-4	S造平家	33.00		H25. 1. 31
" 第4分団 第1班	" 森 二丁目19番12号			62.58	S50. 1. 23
" 第5分団 第1班	" 中原 三丁目242番	S造2階	39.98		H28. 6. 13
" 第7分団 第2班	" 磯子 四丁目4番8号	S造平家	32.14		H14. 5. 28
" 第8分団 第3班	" 峰町 623番地	S造平家	9.99		S54. 2. 8
" 第8分団 第5班	" 水取沢町 221番地	S造平家	9.99		S51. 3. 31
" 第9分団 第3班	" 洋光台 三丁目4番	S造平家	19.98		S55. 3. 31
金 沢 第1分団 第1班	金 沢 区 富岡東 五丁目13番20号			61.15	S40. 3. 16
" 第2分団 第1・2班	" 柴町 355番地の8	S造2階	126.03	166.00	H 2. 3. 19
" 第2分団 第4班	" 柴町 214番地	S造平家	9.99		S50. 10. 31
" 第3分団 第2班	" 谷津町 224番地の2	S造平家	9.99		S52. 3. 31
" 第4分団 第2班	" 寺前 一丁目35番9	S造2階	43.29	61.46	H27. 3. 31
" 第5分団 第2班	" 洲崎町 8番	S造平家	19.98		S58. 1. 31
" 第5分団 第3班	" 野島町 476番11号			76.95	S63. 2. 1
" 第7分団 第2班	" 六浦 三丁目19番15号	S造平家	19.98		S55. 3. 31
" 第7分団 第6班	" 六浦東 一丁目38番36号	S造平家	19.98		S59. 2. 1
" 第7分団 第6班	" 六浦東 一丁目25番1号	S造平家	9.98		S55. 12. 30
" 第4分団 第2班	" 寺前 1丁目35-9番地	S造2階	43.29		H26. 8. 19
港 北 第1分団 第1班	港 北 区 岸根町 728番地	S造平家	9.99		S52. 3. 31
" 第1分団 第2班	" 鳥山町 190番地の4			60.53	S55. 8. 7
" 第1分団 第3班	" 小机町 1521番地の1			41.49	H 6. 9. 20
" 第2分団 第2班	" 富士塚 二丁目1971番4号			30.80	H 9. 2. 10
" 第2分団 第3班	" 篠原東 三丁目14番56号			110.86	H21. 3. 9
" 第3分団 第3班	" 菊名 三丁目16番1号	S造平家	7.29		S48. 3. 31
" 第5分団 第2班	" 箕輪町 336番地の2、336番地の3			47.68	H 9. 5. 16
" 第6分団 第2班	" 新羽町 1531番地の3			16.43	S56. 4. 6
" 第6分団 第6班	" 新羽町 2064番地の7			105.42	S56. 4. 16
" 第7分団 第1班	" 新羽町 1120番6	S造平屋	43.37		H29. 4. 1
" 第7分団 第3班	" 新羽町 2856番地の1	S造平家	34.30		H21. 3. 30
" 第7分団 第6班	" 新羽町 1868番地の4			90.77	H 8. 8. 1
緑 第2分団 第1班	緑 区 寺山町 178番地の2			37.52	S47. 5. 10
" 第2分団 第3班	" 三保町 2570番地13	S造平家	42.14	84.18	H28. 12. 28
" 第2分団 第3班	" 三保町 2570番地10			49.45	H28. 12. 28

※名称は公有財産台帳に記載されているものを使用しています。



名 称	所 在 地	建 物		土地 (㎡)	建設・取得 年 月 日
		構 造	面積 (㎡)		
" 第3分団 第2班	" 青砥町 172番地の62			108.71	H21. 1. 14
" 第4分団 第1班	" 長津田町 5128番地の1ほか	木造平家	55.88		H14. 4. 1
" 第1分団 第3班	" 白山 二丁目463-1	S造平家	33.00	86.03	H24. 1. 30
青 葉 第1分団 第1班	青 葉 区 美しが丘西 二丁目7番地の10			69.14	H 3. 4. 18
" 第1分団 第3班	" 荏子田 二丁目8番地の20			44.26	S59. 8. 2
" 第1分団 第10班	" すすき野 一丁目11番地 1	S造2階	50.00		H29. 3. 31
" 第2分団 第4班	" 市ヶ尾町 16番地の6	S造平家	14.58		S55. 3. 31
" 第2分団 第7班	" 鴨志田町 296番地	S造平家	7.29		S49. 3. 31
" 第2分団 第8班	" 柿の木台 45番地の3			88.00	S49. 9. 17
" 第3分団 第1班	" しらとり台 80番地の5	S造平家	32.30	54.11	H22. 2. 19
" 第3分団 第3班	" 恩田町 1115番地の20	S造平家	33.00	90.63	H22. 6. 18
都 筑 第1分団 第2班	都 筑 区 川和町 2338番地	S造平家	7.29		S50. 3. 31
" 第1分団 第3班	" 佐江戸町 798番地			59.36	S51. 4. 5
" 第2分団 第3班	" 川向町 133番地	S造平家	29.97	6.93	S58. 1. 31
" 第3分団 第3班	" 大棚町 477番地の2	S造平家	19.98		S55.11.15
" 第3分団 第4班	" 中川 五丁目30番	S造平家	19.98		S48. 3. 31
" 第4分団 第2班	" 北山田 一丁目3番9号			56.46	H 5.10. 6
" 第2分団 第4班	" 折本町 1473番地の1	S造平家	50.39		H21. 8. 7
戸 塚 第1分団 第2班	戸 塚 区 戸塚町 16番地19	S造平屋	16.00		H28. 5. 18
" 第1分団 第3班	" 戸塚町 3035番地の3			49.95	S60. 9. 11
" 第1分団 第6班	" 矢部町 1241番地の2	S造平家	19.98		S57. 3. 31
" 第1分団 第6班	" 上矢部町 3229番地	S造平家	9.99		S54. 2. 28
" 第2分団 第2班	" 柏尾町 432番地1	S造平家	35.93		H28. 5. 18
" 第3分団 第1班	" 平戸 二丁目34番	S造平家	19.98		S55. 3. 31
" 第3分団 第2班	" 平戸 五丁目16番	S造平家	9.99		S54. 2. 28
" 第3分団 第3班	" 平戸町 377番地	S造平家	19.98		S59. 2. 1
" 第3分団 第7班	" 川上町 185番地の3	S造平家	9.99		S55. 3. 31
" 第3分団 第9班	" 秋葉町 300番地の5	S造平家	7.29		S48. 3. 31
" 第4分団 第1・2班	" 上矢部町 1279番地の3			253.58	H18. 2. 23
" 第5分団 第3班	" 俣野町 1028番地の2	S造平家	33.25		H22. 2. 1
" 第6分団 第3班	" 影取町 88番地	S造平家	9.99		S52. 3. 31
" 第7分団 第1班	" 上倉田町 1104番地の3	S造平家	7.29		S50. 3. 31
栄 第1分団 第1班	栄 区 長沼町 540番地の3	木造2階	36.76	55.93	H 7. 1. 27
" 第3分団 第1班	" 笠間町 494番地	S造平家	19.98		S58. 1. 31
泉 第1分団 第2班	泉 区 中田南 四丁目989番地の1	S造2階	38.08		H26. 1. 15
" 第2分団 第2班	" 岡津町 58番地の1			82.39	H 7. 9. 7
" 第3分団 第2班	" 和泉町 5391-1			115.90	H28. 3. 25
" 第3分団 第3班	" 和泉町 3694番地の5			76.96	H16. 5. 26
" 第3分団 第4班	" 和泉町 2939番地	S造平家	9.99		S52. 3. 31
" 第4分団 第2班	" 上飯田町 2369番地	S造平家	19.98		S55.11.15
" 第4分団 第3班	" 上飯田町 4580番地	S造平家	19.98		S59. 2. 1
" 第5分団 第1班	" 和泉町 1327番地	S造平家	19.98		S55. 3. 31
瀬 谷 第1分団 第4班	瀬 谷 区 三ツ境 121番地の10			88.28	S59. 3. 27
" 第2分団 第2班	" 北新 26番地の21	S造平家	7.29		S48. 3. 31
" 第3分団 第2班	" 瀬谷町 4311番地	S造平家	19.98		S55. 3. 31
" 第3分団 第3班	" 本郷 一丁目18番地の7	S造平家	19.98		S55.11.15
" 第4分団 第1班	" 竹村町 14番地の2	S造平家	7.29		S49. 3. 31
" 第4分団 第3班	" 五貫目町 25番地の4	S造平家	9.99		S53. 3. 20
" 第4分団 第3班	" 五貫目町 19番地の45			70.45	H 6. 2. 18
" 第2分団 第1班	" 下瀬谷 二丁目49-4	S造平家	33.70		H24. 3. 27
面 積 合 計	(155か所)	(107棟)	2,522.93	(66か所) 5,294.68	

※名称は公有財産台帳に記載されているものを使用しています。

(施設課)

■ 防火水槽占有地の現況

平成28年度

所在地				面積 (㎡)	取得年月日	取得事由	
鶴見区	上末吉	二丁目	8番	154.27	S48. 5. 19	譲	与
〃	北寺尾	四丁目	99番87	93.58	S60. 3. 30	帰	属
〃	獅子ヶ谷	町	1019番地の43	54.04	H12. 11. 1	寄	付
〃	獅子ヶ谷	町	1073番地の46	30.24	S53. 3. 2	所	管 換
〃	獅子ヶ谷	町	1087番地の20	38.82	S52. 3. 31	寄	付
〃	生	麦	二丁目2036番114	26.00	S50. 3. 31	所	管 換
神奈川区	神大寺	一丁目	31番	36.00	S51. 1. 9	帰	属
〃	神大寺	三丁目	5番	88.10	S59. 5. 4	帰	属
中区	矢口	台	57番地の3	111.43	S49. 9. 4	購	入
南区	永田山王	台	27番	36.00	S41. 7. 25	寄	付
〃	永田	台	28番	87.06	S45. 9. 24	寄	付
〃	永田	台	33番	99.45	S45. 9. 24	寄	付
〃	永田	台	37番	103.04	S53. 6. 10	所	管 換
〃	永田みなみ	台	1番	61.18	S51. 3. 24	帰	属
〃	永田みなみ	台	1589番15	47.75	S59. 3. 1	帰	属
〃	六ツ川	三丁目	80番地の24	37.10	S60. 7. 30	帰	属
港南区	上大岡	東一丁目	1064番17	59.55	S60. 2. 19	帰	属
〃	上大岡	東三丁目	9番	72.28	S59. 5. 4	帰	属
〃	上永谷	五丁目	16番	82.74	S50. 4. 4	寄	付
〃	港南	台一丁目	24番7	56.47	S60. 7. 30	帰	属
〃	笹	下三丁目	20番	45.08	S48. 5. 26	寄	付
〃	下永谷	町	2102番地の25	35.00	S48. 4. 23	寄	付
〃	芹が	谷一丁目	16番	26.74	S53. 3. 30	帰	属
〃	芹が	谷一丁目	19番	23.35	S53. 3. 30	帰	属
〃	日野	二丁目	61番3	33.41	S52. 8. 8	帰	属
〃	日野	九丁目	22番	45.28	S48. 6. 8	寄	付
〃	日野	南五丁目	19番	56.44	S48. 11. 5	寄	付
〃	日野	南六丁目	10番	98.74	S48. 11. 5	寄	付
保土ヶ谷区	今井	町	909番地の4	54.45	H18. 7. 27	帰	属
〃	岩井	町	123番地の24	52.83	S58. 2. 24	帰	属
〃	岩間	町	2丁目184番地の3	47.08	S46. 9. 17	所	管 換
〃	東川島	町	35番地の76	53.40	S59. 6. 14	帰	属
〃	法泉	三丁目	23番	30.57	S57. 8. 17	帰	属
〃	峰沢	町	307番地の5	36.18	S55. 4. 11	帰	属
旭区	今宿東	町	836番地の2	46.91	S59. 3. 1	帰	属
〃	四季美	台	70番地の23	56.53	S47. 7. 31	寄	付
〃	白根	四丁目	1436番185	16.29	H 2. 8. 3	帰	属
〃	鶴ヶ峰	一丁目	8番地	73.06	S59. 8. 8	帰	属
〃	二俣川	2丁目	32番地の27	58.81	S47. 7. 7	寄	付
〃	万騎が原	148番地	の36	61.07	S49. 4. 30	寄	付
〃	南希望が	丘	100番地の5	51.23	S32. 3. 30	譲	与
〃	若葉	台	二丁目14番	54.91	S57. 3. 31	帰	属
〃	若葉	台	二丁目20番	66.61	S57. 3. 31	帰	属
〃	若葉	台	三丁目1番	53.45	S57. 3. 31	帰	属
〃	若葉	台	四丁目15番	57.25	S57. 3. 31	帰	属
〃	若葉	台	四丁目21番	52.16	S57. 3. 31	帰	属
〃	若葉	台	四丁目34番	89.92	S58. 9. 13	帰	属
〃	上川井	町	2880番地の8	79.00	H11. 6. 8	帰	属
〃	上川井	町	2882番地の4	82.00	H11. 6. 8	帰	属
磯子区	磯子	八丁目	19番	50.00	H 3. 9. 9	帰	属

所在地			面積 (㎡)	取得年月日	取得事由	
磯子区	岡	村六丁目977番96	54.07	H 6. 4. 6	帰	属
〃	岡	村八丁目11番	58.01	S47. 7. 31	寄	付
〃	栗	木三丁目782番7	58.40	S59. 9. 11	帰	属
〃	杉	田七丁目7番31	54.01	S47. 2. 10	寄	付
〃	杉	田九丁目2番	99.18	S47. 7. 31	寄	付
〃	丸	山一丁目355番6	54.71	S63. 3. 23	帰	属
〃	洋	台六丁目29番47	36.00	S62. 6. 17	帰	属
金沢区	片	吹110番149	41.52	S60. 9. 19	帰	属
〃	片	吹210番4	78.57	S61. 9. 29	帰	属
〃	金	沢町193番30	70.85	S53. 2. 6	帰	属
〃	釜	利谷西一丁目11番	51.33	S54. 9. 18	帰	属
〃	釜	利谷南二丁目4番	60.78	S59. 8. 8	帰	属
〃	釜	利谷南三丁目1番	74.82	S59. 6. 14	帰	属
〃	釜	利谷南三丁目5番	71.38	S59. 6. 14	帰	属
〃	釜	利谷東四丁目28番	48.90	S47. 6. 21	寄	付
〃	釜	利谷東八丁目1794番146	94.49	H11. 3. 1	帰	属
〃	幸	浦二丁目13番地の4	75.45	S56. 7. 20	帰	属
〃	柴	町355番地の4	91.40	S63.10.17	帰	属
〃	富	岡西一丁目66番地	56.16	H 3. 1. 25	帰	属
〃	富	岡西六丁目12番地	56.11	H元. 4. 26	帰	属
〃	富	岡西七丁目13番地	74.96	S56.12.25	所	管 換
〃	富	岡西七丁目23番地	50.39	S60.11. 1	帰	属
〃	能	見台一丁目22番地の2	59.75	S57. 5. 11	帰	属
〃	能	見台二丁目1番地	53.37	S59. 4. 9	帰	属
〃	能	見台二丁目20番地	61.92	S59. 4. 9	帰	属
〃	能	見台三丁目1番地	54.54	S59. 4. 9	帰	属
〃	能	見台三丁目46番地	57.76	S49. 4. 9	帰	属
〃	能	見台三丁目51番地	59.22	S59. 4. 9	帰	属
〃	能	見台三丁目51番地	53.63	S59. 4. 9	帰	属
〃	能	見台四丁目3番地の2	56.07	S61. 9. 29	帰	属
〃	能	見台四丁目3番地の3	56.35	S61. 9. 29	帰	属
〃	能	見台四丁目3番地の4	56.17	S61. 9. 29	帰	属
〃	能	見台四丁目4番地の2	77.34	S61. 9. 29	帰	属
〃	能	見台五丁目61番地の6	55.08	S61. 9. 29	帰	属
〃	能	見台六丁目29番地の4	56.46	S61. 9. 29	帰	属
〃	東	朝比奈一丁目37番	28.00	S47. 9. 7	寄	付
〃	東	朝比奈二丁目15番	37.00	S47. 9. 7	寄	付
〃	福	浦一丁目4番地の3	73.96	S58.12.22	所	管 換
〃	福	浦一丁目9番地の3	73.90	S58.12.22	所	管 換
〃	福	浦二丁目1番地の10	73.96	S58.12.22	所	管 換
〃	福	浦二丁目2番地の2	109.77	S58.12.22	所	管 換
〃	福	浦二丁目11番地の4	73.96	S58.12.22	所	管 換
〃	福	浦二丁目12番地の3	95.65	S58.12.22	所	管 換
〃	六	浦三丁目5番	27.88	S47. 7. 12	寄	付
〃	六	浦三丁目5番	35.84	S52. 5. 23	帰	属
〃	六	浦三丁目21番	36.84	S55. 3. 4	帰	属
〃	六	浦三丁目31番	37.38	S47. 9. 7	寄	付
〃	六	浦三丁目40番	25.02	S47. 9. 7	寄	付
〃	六	浦東三丁目11番17	28.95	S48. 1. 11	寄	付
〃	六	浦町1397番地の41	68.71	S47. 7. 18	寄	付

所在地				面積 (㎡)	取得年月日	取得事由	
金沢区	六浦町	1882番地	の13	52.02	S47. 7. 18	寄	付
〃	六浦町	1948番地	の14	53.45	S63. 4. 22	帰	属
〃	西柴	二丁目114番	227	32.92	H14. 12. 18	帰	属
〃	谷津町	78番地	の121	27.99	H14. 12. 18	帰	属
港北区	篠原町	958番地	の14	88.19	H 2. 6. 16	帰	属
〃	大豆戸町	838番地		96.33	S53. 8. 3	帰	属
緑区	上山町	661番	82	49.26	S47. 9. 21	寄	付
〃	鴨居町	二丁目	23番	139.06	S57. 2. 17	帰	属
〃	霧が丘	一丁目	7番地の13	40.41	S61. 9. 20	帰	属
〃	霧が丘	一丁目	28番地の13	56.01	H17. 8. 8	帰	属
〃	霧が丘	四丁目	1番地の2	51.13	S59. 3. 1	帰	属
〃	霧が丘	六丁目	1番地の4	49.63	S57. 4. 1	帰	属
〃	竹山	一丁目	4番地の4	51.54	S48. 5. 21	寄	付
〃	台村町	933番地	の3	67.98	S60. 5. 7	帰	属
〃	長津田みなみ台	六丁目	1番地の9	49.42	H20. 11. 21	帰	属
〃	長津田みなみ台	一丁目	24番地の7	37.10	H21. 4. 17	帰	属
〃	長津田みなみ台	二丁目	12番地の126	56.92	H24. 12. 17	帰	属
〃	白山	一丁目	17番	50.33	H元. 4. 26	帰	属
〃	三保町	1335番地	の2	49.93	S62. 8. 5	帰	属
〃	三保町	2662番地	の42	79.47	S53. 8. 16	帰	属
〃	三保町	2710番地	の252	97.66	S53. 8. 16	帰	属
青葉区	あざみ野	南三丁目	16番地の24	37.10	H17. 1. 7	帰	属
〃	あざみ野	二丁目	18番地の38	45.17	H28. 7. 25	帰	属
〃	美しが丘	西一丁目	12番地の6	40.03	H18. 12. 7	帰	属
〃	美しが丘	西一丁目	13番地の12	55.05	H16. 11. 5	帰	属
〃	美しが丘	西二丁目	19番地の7	39.07	S51. 12. 7	帰	属
〃	美しが丘	西二丁目	34番地の19	39.66	H18. 4. 6	帰	属
〃	荏子田	二丁目	15番地の89	32.00	H20. 2. 25	帰	属
〃	荏田	西一丁目	3番地の11	34.10	S58. 10. 8	帰	属
〃	荏田	西二丁目	30番地の3	54.16	S58. 10. 8	帰	属
〃	大場町	362番地	の1	53.00	H元. 11. 13	換	地
〃	大場町	368番地	の56	54.02	H元. 11. 13	換	地
〃	大場町	703番地	の19	40.03	H19. 8. 14	帰	属
〃	大場町	704番地	の74	64.23	H元. 10. 17	所	管
〃	大場町	930番地	の78	47.74	S49. 4. 3	寄	付
〃	大場町	362番地	の69	48.39	H29. 2. 4	帰	属
〃	奈良町	2801番地	の3	45.00	S47. 11. 1	寄	付
〃	鴨志田町	571番地	の5	53.29	S59. 3. 1	帰	属
〃	鴨志田町	552-42		42.61	H26. 12. 16	帰	属
〃	鉄	2136番地	の4	56.24	S62. 11. 26	帰	属
〃	黒須田	29番地	の1	53.00	H 3. 10. 24	換	地
〃	すすき野	二丁目	4番地の6	34.73	S57. 4. 1	帰	属
〃	すすき野	三丁目	3番地の4	37.89	S50. 12. 5	帰	属
〃	田奈町	10番地	の28	50.12	S59. 3. 1	帰	属
〃	千草台	17番地	の4	91.28	S61. 11. 28	所	管
〃	みたけ台	17番地	の14	31.00	S50. 12. 10	帰	属
〃	桂台	二丁目	40-89	38.63	H24. 1. 11	帰	属
〃	たちばな台	一丁目	8-16	51.00	H27. 2. 26	帰	属
都筑区	あゆみが丘	8番	1	79.33	H13. 4. 1	所	管
〃	荏田	東四丁目	42番7	45.36	H21. 2. 6	帰	属
〃	荏田	南一丁目	19番13	56.39	H16. 12. 8	帰	属
〃	荏田	南五丁目	23番8	45.50	H18. 12. 25	帰	属
〃	北山田	二丁目	28番2	38.19	H19. 12. 7	帰	属
〃	南山田	一丁目	3番8	73.96	H 9. 3. 10	帰	属

所在地			面積 (㎡)	取得年月日	取得事由	
戸塚区	上倉田	町 1140番地の3	62.57	S50. 3. 6	購入	
"	下倉田	町 615番地の58	45.75	H18. 2. 28	帰属	
"	戸塚	町 1873番地の54	63.72	H 6. 5. 9	帰属	
"	戸塚	町 2625番地の46	28.49	S51. 7. 30	帰属	
"	戸塚	町 3755番地の12	48.75	S62. 9. 12	帰属	
"	名瀬	町 782番地の78	45.85	S61. 7. 29	帰属	
"	名瀬	町 2850番地の23	60.07	S47. 12. 14	寄付	
"	平	戸一丁目1436番4	58.45	S60. 2. 19	帰属	
"	平	戸五丁目934番28	61.88	H13. 9. 10	帰属	
"	俣野	町 1403番地の71	58.98	S55. 7. 2	帰属	
"	矢部	町 1967番地の3	49.04	S62. 6. 17	帰属	
"	舞岡	町 644番地の8	49.00	H 6. 11. 1	帰属	
栄区	飯島	町 37番地の4	44.51	S53. 3. 27	帰属	
"	上郷	町 242番地の3	57.90	S57. 8. 17	帰属	
"	東上郷	町 30番	42.29	S54. 5. 15	帰属	
泉区	和泉	町 5739番地の5	95.37	S52. 3. 9	帰属	
"	上飯田	町 2090番地の23	99.67	S57. 12. 15	所管	管換
"	新橋	町 154番地の4	41.90	H24. 7. 26	帰属	
瀬谷区	阿久和	町 2556番地の3	40.10	S58. 10. 13	帰属	
"	阿久和	町 3577番地の2	43.74	S50. 1. 31	寄付	
"	阿久和	町 7685番地の3	55.38	S59. 3. 21	帰属	
"	下瀬谷	町 三丁目57番地	47.59	S55. 2. 25	帰属	
"	宮沢	町 956番地の56	163.40	S51. 9. 27	寄付	
合計			10,207.24			

(施設課)

■ 消防訓練場の現況

平成28年度

名 称 / 所 在 地	面 積 (㎡)	取 得 年 月 日	取 得 事 由
<u>横浜市消防訓練センター</u> 戸 塚 区 深 谷 町 777番地	54,093.58	S58. 8. 4	所管換 (旧財政局・道路局他から)
<u>都筑区消防訓練場</u> 都 筑 区 勝 田 町 1093番地	787.77	H20. 3. 31	用途変更 (勝田消防出張所廃止に伴う。)
<u>磯子水上消防訓練場</u> 磯 子 区 杉 田 5丁目31番22号	841.03	H22. 7. 2	用途変更 (磯子水上消防出張所廃止に伴う。)
<u>野庭消防訓練場</u> 港 南 区 野 庭 631番地	1,622.56	H24. 9. 27	所管換 (こども青少年局から)
合 計	57,344.94		

(施設課)

■ 自家用給油取扱所の現況

平成28年度

名 称 / 所 在 地	地下タンク容量	完成検査年月日	運用開始年月日
横浜市消防訓練センター 戸塚区 深谷町 777番地	軽油50KL ガソリン30KL	H25. 3. 27	H25. 5. 15
西 消 防 署 西 区 戸 部 本 町 50番地11	軽油30KL ガソリン20KL	H25. 3. 27	H25. 5. 15
港南消防署港南台消防出張所 港 南 区 港 南 台 八丁目4番12号	軽油30KL ガソリン20KL	H25. 3. 29	H25. 5. 15
港北消防署日吉消防出張所 港 北 区 箕 輪 町 一丁目1番8号	軽油10KL ガソリン10KL	H25. 3. 29	H25. 5. 15
青 葉 消 防 署 青 葉 区 市 ヶ 尾 町 33番地1	軽油30KL ガソリン20KL	H25. 3. 28	H25. 5. 15
合 計	軽油150KL ガソリン100KL		

(施設課)

# 消 防 局 沿 革

焼損床面積1,000㎡以上、死者3人以上、負傷者10人以上の火災及び社会的影響の大きい火災・風水害を掲載  
(非開示情報に該当する項目を除く)

年 月	記 事																														
1948年（昭和23年） 3月	<p>消防組織法の施行により県（警防部）から分離、自治体消防として横浜市消防が発足した。</p> <p>職員854人、消防車82台、救急車2台、消防艇4隻、消防団13団8,701人 初代局長 中川 勘一 就任</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消防局（5課1室） <ul style="list-style-type: none"> <li>総務課（中消防署に併設）</li> <li>予防課（中消防署に併設）</li> <li>教養監察課（西消防署に併設）</li> </ul> </li> <li>・ 消防署（8署） <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">鶴見</td> <td style="width: 33%;">神奈川</td> <td style="width: 33%;">西</td> </tr> <tr> <td>中</td> <td>南</td> <td>保土ヶ谷</td> </tr> <tr> <td>磯子</td> <td>戸塚</td> <td></td> </tr> </table> </li> <li>・ 消防士補派出所（1所） <ul style="list-style-type: none"> <li>金沢</li> </ul> </li> <li>・ 消防出張所（21所） <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">末吉</td> <td style="width: 33%;">矢向</td> <td style="width: 33%;">入船</td> </tr> <tr> <td>大黒町</td> <td>寺尾</td> <td>安善(S23.10廃止)</td> </tr> <tr> <td>子安(s56.2廃止)</td> <td>綱島</td> <td>松本(S39.4廃止)</td> </tr> <tr> <td>川和</td> <td>長津田</td> <td>浅間町</td> </tr> <tr> <td>紅葉ヶ丘(S41.8廃止)</td> <td>伊勢佐木(S39.8廃止)</td> <td>帷子(S37.6廃止)</td> </tr> <tr> <td>大岡</td> <td>井土ヶ谷(S49.4廃止)</td> <td>禅馬(S32.11廃止)</td> </tr> <tr> <td>谷津(S30.7廃止)</td> <td>六浦</td> <td>柏尾(S23.9廃止)</td> </tr> </table> </li> <li>・ 消防学校（1校）（昭和28年に県に移管）</li> </ul> <p>神奈川区橋本町 寄宿舎火災</p>	鶴見	神奈川	西	中	南	保土ヶ谷	磯子	戸塚		末吉	矢向	入船	大黒町	寺尾	安善(S23.10廃止)	子安(s56.2廃止)	綱島	松本(S39.4廃止)	川和	長津田	浅間町	紅葉ヶ丘(S41.8廃止)	伊勢佐木(S39.8廃止)	帷子(S37.6廃止)	大岡	井土ヶ谷(S49.4廃止)	禅馬(S32.11廃止)	谷津(S30.7廃止)	六浦	柏尾(S23.9廃止)
鶴見	神奈川	西																													
中	南	保土ヶ谷																													
磯子	戸塚																														
末吉	矢向	入船																													
大黒町	寺尾	安善(S23.10廃止)																													
子安(s56.2廃止)	綱島	松本(S39.4廃止)																													
川和	長津田	浅間町																													
紅葉ヶ丘(S41.8廃止)	伊勢佐木(S39.8廃止)	帷子(S37.6廃止)																													
大岡	井土ヶ谷(S49.4廃止)	禅馬(S32.11廃止)																													
谷津(S30.7廃止)	六浦	柏尾(S23.9廃止)																													
4月	西区西平沼町 作業場火災																														
5月	南区南太田町 工場火災																														
	金沢区制定（10区となる。）																														
8月	<p>消防法施行</p> <p>綱島消防出張所、金沢消防士補出張所を司令補出張所に改称</p>																														
9月	<p>戸塚消防署 大正消防出張所事務開始(新設)</p> <p>神奈川消防署事務開始（建替移転）、旧神奈川消防署を浦島消防出張所として事務開始</p> <p>柏尾消防出張所廃止</p> <p>アイオン台風来襲 関東、東北で死者行方不明者2,368人</p>																														
10月	<p>危険物条例公布（昭和34年4月廃止）</p> <p>入船消防出張所と安善消防出張所が合併し、入船消防出張所として事務開始</p>																														
11月	火災予防条例公布（昭和34年3月全部改正）																														
1949年（昭和24年） 1月	<p>自治体消防としての第1回出初式を中区住吉町で挙行</p> <p>鶴見区末広町 工場火災</p>																														



年 月	記 事
1950年（昭和25年）	2月 保土ヶ谷消防署 帷子消防出張所事務開始（建替移転）（昭和37年6月廃止）、旧帷子消防出張所を本陣消防出張所として事務開始 金沢司令派出所に昇格（金沢区内の事務を代決）（昭和27年10月廃止）
	3月 鶴見区大黒町 自動車火災 日本貿易博覧会開催に伴い、野毛、反町に警備隊設置（昭和25年6月解散） 「燃えない都市展」開催
	5月 戸塚消防署 瀬谷消防出張所事務開始（新設） 中消防署 野毛消防出張所事務開始（新設）（昭和47年12月廃止）
	6月 消防局庁舎完成（我が国最初の消防本部独立庁舎）
	8月 戸塚消防署事務開始（建替） キティ台風 死者9人 負傷者29人 倒壊家屋208棟 浸水家屋690戸
	9月 消防指令通信施設完成
	11月 防火協会設立
	12月 神奈川区三ツ沢南町 学校火災 鶴見区生麦町 学校火災
	1月 職員機関誌「横浜消防」創刊 第2回出初式を保土ヶ谷区天王町において挙行 火災予防雑誌「みなと消防」創刊（後に火災予防研究会機関誌）
	2月 消防指令電話機用ラジオ増幅装置完成 中消防署 北方消防出張所接收解除
	4月 消防職員互助会発足（昭和44年3月解散）
	5月 戸塚消防署 本郷消防出張所事務開始（新設）
1951年（昭和26年）	6月 鶴見区生麦 寄宿舍火災 負傷者5人 神奈川消防署 入江町消防出張所事務開始（新設）（平成21年3月廃止）
	9月 鶴見消防署 岸谷消防出張所事務開始（新設） 火災予防研究会発足
	1月 第3回出初式を横浜商業高校校庭において挙行 西区高島町高島駅岸壁 船舶火災 死者1人 水上ホテル 船舶転覆 死者7人 負傷者86人
	2月 神奈川消防署 反町消防出張所事務開始（新設）（昭和38年3月廃止）
	4月 保土ヶ谷消防署 鶴ヶ峰消防出張所事務開始（新設）（昭和46年10月廃止） 中区桜木町 電車火災 死者107人 負傷者81人
	5月 南消防署 港南消防出張所事務開始（新設）（昭和46年10月廃止） 金沢区富岡町 自動車修理工場火災 指定勤務制度実施
	7月 港北消防署事務開始（新設）（9署となる。） 港北消防署 綱島司令補派出所を消防出張所に改称
	8月 各署に火災原因調査専従員を配置
	9月 職員住宅建設互助会発足（昭和46年10月解散）
	10月 消防局に通信課新設（昭和27年10月廃止） 鶴見消防署 生麦消防出張所事務開始（新設）
	11月 神奈川区宝町岸壁 船舶火災 死者1人 負傷者3人

年 月	記 事
	消防宝くじ発行
1952年（昭和27年）	12月 鶴見区矢向町 工場火災 死者2人 負傷者14人
	1月 第4回出初式を横浜商業高校において挙行
	金沢区六浦町 学校火災 負傷者1人
	保土ヶ谷区今井町 航空機火災 死者12人
	5月 戸塚消防署 中和田分遣所事務開始（新設）
	6月 金沢区六浦町 山林内 航空機火災 死者1人
	金沢区野島町 航空機火災 死者1人
	8月 中区新山下 事務所火災 負傷者5人
	9月 中消防署 水上消防出張所事務開始（新設）（昭和33年7月中消防署から西消防署に移管）
	10月 第2代局長 大島 英武 就任
1953年（昭和28年）	神奈川県橋本町 船舶火災 死者2人 負傷者6人
	金沢消防署事務開始（新設）（10署となり1区1署制設定）
	金沢司令派出所廃止
	金沢消防団が創立（消防団14団、7,821人となる。）
	11月 消防艇「はまかぜ」就航（昭和52年廃船）
	12月 南区八幡町 住宅火災 死者3人 負傷者1人
	1月 第5回出初式を横浜商業高校において挙行
	横浜港湾内 船舶火災 死者1人
	4月 消防学校を県に移管
	港北区長津田町 精米業火災
西区北幸町 工場火災	
1954年（昭和29年）	5月 中消防署 山手消防出張所（臨時）事務開始（平成20年3月廃止）
	11月 保土ヶ谷区岩間町 工場火災
	鶴見区小野町 工場火災
	12月 神奈川区六角橋西町 学校火災
	1月 第6回出初式を横浜商業高校において挙行
	2月 鶴見区東寺尾 学校火災
	3月 保土ヶ谷区月見台 学校火災 負傷者4人
	神奈川区山内町 倉庫・工場火災 負傷者30人
	港北区池辺町 航空機火災 死者3人
	6月 消防団長会主催「大相撲」（千代の山一行）を挙行
7月 保土ヶ谷区天王町 工場火災 死者4人 負傷者3人	
南区中里町 工場火災 負傷者8人	
1955年（昭和30年）	8月 南区笹下町刑務所火災
	9月 各署通信専従員を設置
	11月 戸塚区柏尾町 工場火災
	12月 暁の非常召集訓練を実施
	1月 第7回出初式を横浜商業高校において挙行
	2月 磯子区杉田 学校火災 負傷者6人
	戸塚区原宿町 老人ホーム火災 死者99人 負傷者9人
	西区北軽井沢町 会社寮火災 負傷者5人

年 月	記 事	
1956年（昭和31年）	4月 保土ヶ谷区神戸町 工場火災 保土ヶ谷区二俣川町 航空機火災 死者1人	
	7月 金沢消防署事務開始（移転・建替）、旧金沢消防署を洲崎消防出張所と改称し、事務開始(昭和46年4月廃止) 谷津消防出張所廃止	
	8月 第3代局長 及川 盛雄 就任 保土ヶ谷区仏向町 工場火災 死者3人	
	9月 火災予防研究会創立5周年記念大会開催 保土ヶ谷区今宿町 航空機火災 死者1人	
	10月 消防局武道場竣工 第10回国体横浜会場消防警備実施 西区花咲町 キャバレー火災	
	1月 第8回出初式を市庁舎建設地において挙行	
	3月 南区山王町 共同住宅火災 死者3人 負傷者5人	
	4月 教養監察課廃止 南区中里町 工場火災 負傷者1人	
	5月 金沢区六浦町 マーケット火災 負傷者2人	
	7月 火災共済設立 中区本牧町 教会火災	
	9月 鶴見区生麦町 学校火災 負傷者1人	
	10月 集中豪雨のため死者7人 負傷者11人 被害家屋2,248戸	
1957年（昭和32年）	12月 中区尾上町 工場火災 負傷者13人	
	1月 第9回出初式を市役所建設敷地において挙行 火災警報信号所を告示 西区平沼 倉庫火災 負傷者2人	
	2月 鶴見区大黒町 岸壁 船舶火災 死者1人	
	3月 神奈川区六角橋 工場火災 負傷者3人	
	4月 消防団員等公務災害補償条例を制定 神奈川区東神奈川町 食堂火災 負傷者3人 西区岡野町 工場火災	
	6月 油脂類大量貯蔵施設との相互応援協約成立	
	10月 第4代局長 板橋 英二 就任 戸塚区瀬谷町 航空機火災 死者1人 負傷者1人	
	11月 磯子消防署新庁舎完成、旧磯子消防署を杉田消防出張所として事務開始 禅馬消防出張所廃止	
	1958年（昭和33年）	1月 第10回出初式を県庁前において挙行 保土ヶ谷区仏向町 工場火災 死者2人 負傷者14人 鶴見区大黒町 工場火災 死者1人 負傷者39人
		2月 中区新山下町 工場火災 負傷者1人 鶴見区生麦 船舶火災 死者1人
		3月 春の火災予防週間の一環として「市民と消防の集い」開催 於鶴見公会堂
		4月 神奈川区橋本町 船舶火災 死者1人 負傷者1人
5月 横浜開港100年祭記念式典が平和球場で開催		

年 月	記 事
1959年（昭和34年）	保土ヶ谷区岩井原 学校火災 死者1人
	6月 鶴見消防署 矢向消防出張所事務開始（建替）
	7月 水上消防出張所を中消防署から西消防署へ移管
	8月 消防局音楽隊誕生 隊員32人
	戸塚区戸塚町 車両火災 死者3人
	神奈川区神大寺町 航空機火災 死者1人 負傷者9人
	9月 自治体消防10周年記念式典を横浜公園体育館で開催
	台風22号（狩野川台風）死者61人 負傷者135人 倒壊家屋792棟 浸水家屋24,036戸
	10月 消防団10周年記念式典開催
	中区曙町 飲食店火災 死者3人
	11月 消防法第23条に基づき、三溪園の内外苑を火気厳禁
	1960年（昭和35年）
金沢区六浦町 共同住宅火災 負傷者3人	
3月 鶴見区下野谷町 工場火災 負傷者2人	
4月 消防法改正（危険物規則）により危険物条例廃止	
神奈川区瑞穂岸壁 船舶火災	
5月 救急艇「はまかぜ2号」就航	
望楼勤務午後6時から翌朝9時までとし、昼間勤務廃止	
鶴見消防署 東寺尾消防出張所事務開始（建替）、寺尾消防出張所に改称	
7月 西区北幸町 工場火災	
8月 国際消防長会議出席のため板橋局長渡米（8月12日～9月18日）	
9月 横浜市役所新庁舎完成	
伊勢湾台風被災地へ ボート100隻 隊員15人を派遣 応援救助に従事	
10月 消防職員は警察共済組合から分離 区健康保険組合へ加入	
11月 金沢区釜利谷町 工場爆発火災 死者3人 負傷者560人 （同12月14日消防課長以下17人叙勲）	
12月 神奈川区子安台 火薬輸送車爆発火災 死者4人 負傷者110人	
金沢区町屋町 県営住宅火災 負傷者12人	
1月 第12回出初式を県庁前において挙行	
2月 酸素呼吸器、酸素ドレーガーを配置	
3月 横浜公園体育館圧死事故 死者12人 負傷者14人	
「横浜市消防の歌」制定	
南消防署 井土ヶ谷消防出張所事務開始（建替）（昭和49年4月廃止）	
4月 南区井土ヶ谷中町 市場火災	
南区庚台 共同住宅火災 死者3人	
5月 第5代局長 武井 武 就任	
8月 金沢区富岡町 市職員寮火災	
9月 消防監補の階級新設（昭和37年8月廃止）	
火災予防研究会創立10周年記念大会開催	
11月 各消防署に3係制（庶務、指導、警防）設置	
12月 東海道線滝坂踏切で衝突事故 死者8人 負傷者10人	
戸塚区下飯田町 住宅火災 死者3人	

年 月	記 事
1961年（昭和36年）	<p>1月 第13回出初式を蒔田公園において挙行 東海道線秋葉踏切で衝突事故 死者7人 負傷者94人 戸塚区柏尾町 工場火災</p> <p>3月 金沢消防署洲崎消防出張所、戸塚消防署大正消防出張所事務開始（建替） 鶴見区安善町 船舶火災 死者1人 負傷者5人</p> <p>5月 32メートルはしご消防車完成（西消防署へ配置）</p> <p>6月 世界アマチュアレスリング選手権大会が慶応大学で開催 特別警備実施 集中豪雨 死者22人 負傷者32人 倒壊家屋227棟 浸水家屋19,956戸 崖崩れ444箇所</p> <p>7月 消防車機関員級別認定設置 南区井土ヶ谷中町 工場火災</p> <p>9月 防火管理者講習始める。</p> <p>11月 戸塚区瀬谷町 航空機火災 死者1人</p> <p>12月 特別点検を蒔田公園で実施</p>
1962年（昭和37年）	<p>1月 第14回出初式を蒔田公園で挙行</p> <p>2月 神奈川区七島町 住宅火災 負傷者5人</p> <p>3月 消防法改正により旧火災予防条例を全面改正して新条例を公布</p> <p>5月 深海潜水艇（バチスカーフ号）危険物持込に対し特別警備</p> <p>6月 超短波無線を増設3波3方面分割 保土ヶ谷消防署 希望ヶ丘消防出張所事務開始（新設） 帷子消防出張所廃止</p> <p>7月 火災予防条例施行規則制定 金沢区堀口において人工崖崩れ実験実施</p> <p>8月 機構改革により部制を新設（総務部・警防部）部長を設置 消防監補の階級を廃し消防司監、消防正監、消防監を新設 各署に副署長制設定（1局2部6課10署35消防出張所となる）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消防局 <ul style="list-style-type: none"> <li>総務部 <ul style="list-style-type: none"> <li>総務課 人事教養課 機械課</li> </ul> </li> <li>警防部 <ul style="list-style-type: none"> <li>予防課 保安課 警備課</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>・消防署 <ul style="list-style-type: none"> <li>庶務課 予防課 警備課</li> </ul> </li> </ul> <p>在日米軍と消防相互応援協約締結 戸塚消防署瀬谷消防出張所、鶴見消防署入船消防出張所事務開始（建替） 中和田分遣所を消防出張所に昇格 国際消防長会議出席のため武井局長渡欧（8月31日から10月4日）</p> <p>9月 横浜港内第3区 船舶火災</p> <p>10月 京浜運河で日本籍船舶とノルウェータンカーが衝突炎上、日本側死者39人</p> <p>11月 鶴見区大黒町 火力発電所火災 死者3人</p> <p>12月 保土ヶ谷区仏向町 工場火災 死者5人 負傷者42人 スノーケル車完成（南消防署配置）</p>
1963年（昭和38年）	<p>1月 第15回出初式を蒔田公園で挙行</p>

年 月	記 事
1964年（昭和39年）	長期異常乾燥に伴い特別火災警報発令 外房灯台東北東沖合 船舶火災
	2月 自治体消防15周年記念式典開催（於西公会堂） 神奈川区西神奈川町 工場火災 死者2人 負傷者3人 消防艇「あけぼの」就航（磯子消防署配置）
	3月 港北消防署綱島消防出張所、神奈川消防署浦島消防出張所事務開始（建替） 災害対策基本法に基づき災害対策本部条例、防災条例制定 火災予防査察規程制定
	6月 京浜急行上大岡駅 電車火災 負傷者24人 鶴見消防署新庁舎（鶴見区総合庁舎）へ移転 「防火管理者の証」公布はじまる
	7月 大倉山トンネル（新幹線）落盤事故 死者4人 負傷者3人 第6代局長 渋谷 三郎 就任 レンジャー隊員陸上自衛隊にて訓練 鶴見区向井町 学校火災 南区最戸町 工場火災
	8月 港北消防署 日吉消防出張所事務開始（新設）、反町消防出張所廃止
	10月 横浜市地域防災計画策定 横浜市消防本部及び消防署の設置等に関する条例 横浜市消防団の設置等に関する条例制定 東京国際スポーツバレーボール大会特別警備 中区長者町 簡易宿泊所火災
	11月 神奈川区桐畑の京浜第2国道上で都市ガス火災 国鉄鶴見事故 死者162人 負傷者87人 科学消防展を有隣堂で開催
	12月 神奈川区宝町岸壁 船舶火災 死者2人
	1月 第16回出初式を蒔田公園で挙 鶴見区市場町 工場火災 負傷者1人
	2月 鶴見消防署 岸谷消防出張所事務開始（建替）
	3月 中区末吉町 マーケット火災 神奈川消防署新庁舎（神奈川区総合庁舎）へ移転 鶴見区矢向町 工場火災
	4月 第7代局長 新井 助太郎 就任 神奈川消防署 城郷消防出張所事務開始（新設）、松本消防出張所廃止
	5月 少年消防クラブ結成 20クラブ誕生
	6月 消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例及び規則制定
	8月 機構改革により予防部及び救助課新設（3部7課となる） ・ 総務部 総務課 人事教養課 機械課 ・ 予防部 予防課 指導課 ・ 警防部 警備課 救助課

年 月	記 事
1965年（昭和40年）	消防特別救助隊事務開始 伊勢佐木消防出張所廃止
	10月 東京オリンピックのサッカー（三ツ沢競技場）及びバレー（文化体育館）会場警備支援業務開始
	11月 南区中里 工場火災
	鶴見区矢向町 工場火災 負傷者3人
	1月 第17回出初式を蒔田公園で挙
	中消防署 山手消防出張所事務開始（建替）（平成20年3月廃止）
	2月 金沢区釜利谷 山林火災 41ヘクタール焼失
	中区山下町 工場火災
	3月 金沢区六浦町 学校火災 負傷者2人
	4月 アジアユースサッカー大会警備実施
	5月 リモコン放水砲製作完成
	鶴見区大黒町 船舶火災 死者1人 負傷者2人 10隻焼損
1966年（昭和41年）	6月 南消防署 下永谷消防出張所事務開始（新設）
	8月 鶴見区小野町 住宅火災 負傷者21人
	9月 火災予防研究会創立15周年記念大会実施（於県立音楽堂）
	10月 戸塚区上倉田町 倉庫火災
	12月 戸塚区公田町 共同住宅火災 死者3人
	1月 第18回出初式を蒔田公園で挙
	2月 神奈川区新浦島町 工場火災 死者1人 負傷者12人
	6月 全消会総会を文化体育館で開催
	台風4号 死者32人 負傷者14人 倒壊家屋58棟 浸水家屋38,859戸 崖崩れ851箇所
	8月 西消防署 境之谷消防出張所事務開始（新設）、紅葉ヶ丘消防出張所廃止
	9月 台風26号関東、中部に大被害 死者行方不明314人
	11月 アジア消防長会議出席のため池田喜之助総務部長バンコックへ海外出張 （11月29日～12月7日）
1967年（昭和42年）	12月 中区不老町 飯場火災 死者3人 負傷者2人
	第8代局長 池田 喜之助 就任
	1月 第19回出初式を蒔田公園において挙
	西区平沼 病院火災 死者4人 負傷者1人
	鶴見区市場町 工場火災 死者5人 負傷者2人
	市民総ぐるみ焼死者絶滅運動実施
	2月 港北区菊名町 学校火災 負傷者1人
	中区山下町 船舶火災 死者1人
	3月 中区海岸通 船舶火災 死者1人
	5月 水陸両用車制作完成
	兼務救助隊設置（入江町、浅間町、杉田）
	港北消防署 十日市場消防出張所事務開始（新設）
6月 金沢消防署 六浦消防出張所事務開始（建替）	
7月 中区本牧等地 タンカー火災 死者1人	
10月 中区山下ふ頭4号岸壁 はしけ 死者1人	
第9代局長 青木 近衛 就任	

年 月	記 事	
1968年（昭和43年）	1月 第20回出初式を蒔田公園において挙行 神奈川区神の木台 住宅火災 負傷者4人	
	2月 副士長制を創設	
	3月 磯子消防署 杉田消防出張所（待機宿舎併設）事務開始（建替） 液化石油ガス保安の確保及び取引の適正化に関する法律施行によりLPGに消防が関与	
	4月 南区中村町 住宅火災 東名高速道路開通に伴い高速道救急業務開始 「都市災害対策会議」制定	
	5月 機構改革により企画課創設、主幹・副主幹・主査の職制設置、消防署に警備第一係、警備第二係設置（消防局3部8課、消防署4係となる） 金沢区六浦町 学校火災 負傷者2人 「特別警防対策実行本部」の制定	
	6月 「市民防火（防災）の日」制定 消防艇「まもり200」就航（西消防署配置）	
	7月 煙対策実験を緑ヶ丘全日空社宅にて実施 鶴見区末広町 住宅火災 死者4人 負傷者1人	
	8月 鶴見消防署 末吉消防出張所事務開始（建替） 相模鉄道瀬谷駅電車衝突事故 負傷者86人 自衛消防地区組織結成	
	9月 自治体消防発足20周年記念「市民と消防の集い」開催、文化体育館 西区緑町 船舶火災 死者2人 「市民防火（防災）の日」全市一斉に実践活動開始	
	12月 鶴見区大黒町 船舶火災 死者1人	
	1969年（昭和44年）	1月 第21回出初式を蒔田公園において挙行 赤バイ製作完成 10台 西区高島町 船舶火災 死者1人
		3月 消防職員互助会解散
4月 消友会・共励会発足 中区本牧ふ頭B5号 船舶火災 初めて婦人消防官・大学卒消防吏員を採用		
5月 消防署に課制を導入（庶務・予防・警備第一・警備第二の4課） 磯子消防署 磯子水上消防出張所事務開始（新設） 西消防署 水上消防出張所は西水上消防出張所に改称 中区山下ふ頭3号岸壁 船舶火災 神奈川区子安通 造船所火災		
6月 第1回都市消防レンジャー技術交換競技会開催、参加25都市、200人		
7月 高速救助艇「まもり201」就航 港北消防署 長津田消防出張所（待機宿舎併設）事務開始（建替） 「消防体育館」発会 消防事務の総点検実施 中区扇町 簡易宿泊所火災 死者3人		
8月 戸塚消防署 中和田消防出張所（待機宿舎併設）事務開始（建替）		



年 月	記 事	
1970年（昭和45年）	9月 家庭防災予防員誕生 2,181人	
	10月 分区実施(14区となる。)に伴い緑・旭・瀬谷・港南に消防団結成 17団7,825人 国際消防長会議出席のため青木局長渡欧（9月29日～10月29日） 危険物規制規則全面改正 鶴見区市場町 工場火災 死者3人 負傷者3人 保土ヶ谷消防署事務開始（建替）	
	11月 消防局新庁舎（保土ヶ谷総合庁舎）へ移転	
	12月 消防局屋内訓練センター開き（消防局所庁舎内、保土ヶ谷区総合庁舎6階） 瀬谷区瀬谷町 住宅火災 死者4人 危険物運搬防災連絡協議会発足	
	1月 第22回出初式は「70年出初式」として本牧埋め立て地において挙行 火災予防違反処理規程制定	
	3月 鶴見区生麦町 作業場火災 横浜消防20年史「炎」発刊	
	4月 火災予防査察規程を全面改正	
	5月 機構改革により人事教養課を人事課・教育課に分離、機械課を装備課に改称、防災課新設（3部10課となる。） 保土ヶ谷消防署 本陣消防出張所事務開始（建替）	
	6月 戸塚消防署 大正消防出張所事務開始（建替） 火災予防研究誌「みなと消防」を「ヨコハマ都市消防」に改称	
	7月 集中豪雨 死者3人 負傷者7人 倒壊家屋88棟 浸水家屋6,204棟 崖崩れ290箇所 第2回都市消防レンジャー技術交換競技会開催 参加64都市 400人 婦人消防官都市交換会開催、参加5都市 55人 業種別防災連絡会発足 13業種 2,235人 職場改善協議会設立	
	8月 東京湾消防相互応援協定締結（横浜・東京・川崎・千葉・市原） 中区山下ふ頭 船舶火災 地震対策訓練を市内549箇所で一斉に実施	
	9月 戸塚消防署 岡津消防出張所事務開始（新設） 中区山下町 住宅火災 死者3人 消防職員給与規定を改正、一般職員と同等となる	
	10月 港北消防署 勝田消防出張所事務開始（新設）（平成18年11月廃止） タンカー 船舶火災 死者4人	
	1971年（昭和46年）	1月 第23回出初式は「消防新春会」として文化体育館において挙行 南区高根町 劇場火災 負傷者3人 鶴見区小野町 住宅（古物商）火災 死者3人 負傷者5人
		2月 横浜港湾災害対策実行本部設立
		4月 地震対策協議会に専門家を招き開催 金沢消防署新庁舎（金沢区総合庁舎）へ移転、旧金沢消防署を谷津消防出張所として事務開始、洲崎消防出張所廃止 南区中島町 スーパーマーケット火災 負傷者2人
	5月 市民バンド結成	

年 月	記 事
	都岡消防出張所事務開始（新設）
	金沢消防署 富岡消防出張所事務開始（新設）
6月	機構改革により災害調査課新設、防災課廃止（3部10課）
	対爆リモコン消防車試作完成
	洋光台団地高層ビル訓練実施
	鶴見消防署 駒岡消防出張所（待機宿舎併設）事務開始（新設）
	瀬谷消防署事務開始（新設）、旧瀬谷消防出張所を中瀬谷消防出張所に改称（11消防署となる。）
7月	第3回都市消防レンジャー技術交換競技会を新潟県柏崎市で開催 参加109都市
	西区高島町 船舶火災
8月	戸塚消防署 本郷消防出張所新庁舎（戸塚区役所本郷消防出張所総合庁舎）へ移転
	中区錦町 造船所 タンカー火災 死者5人 負傷者1人
	台風23号 死者1人 倒壊家屋8棟 浸水家屋2,627棟
10月	地震の備えとして避難袋研究会開催
	港南消防署事務開始（新設）、港南消防出張所廃止（12消防署となる。）
	市職員海外研修生として救助係長渡欧（8月15日～9月15日）
	旭消防署事務開始（新設）、鶴ヶ峰消防出張所廃止（13消防署となる。）
11月	「市民と消防の消防技術競技大会」開催
12月	耐震自動消火石油ストーブ研修会開催
	40メートルはしご消防車・消防ロボット・ミニ消防車完成
1972年（昭和47年） 1月	第24回消防出初式は、「戸塚・区民消防総合出初式」として戸塚区青少年スポーツ広場において挙行
	鶴見区大黒町工場火災 負傷者3人
2月	消防用ロボットをテレビ放送によって一般公開
	八丈島沖地震に伴い、家庭主婦6,757人と消防職員1,924人を対象として地震時における意識調査を実施
	南区中村町 工場火災
	資料「危険エネルギー」刊行
4月	神奈川消防署 入江町消防出張所事務開始（建替）（平成21年3月廃止）
	地震時動員計画の策定、動員訓練の実施
	南区中里町 倉庫火災
5月	緑消防署 藤が丘消防出張所事務開始（新設）（平成23年7月廃止）
6月	大地震災害の想定によって、群衆避難流動実態調査を鶴見区において実施
7月	救急車のサイレンを電子音（ピーポー）サイレンに変更
	消防局主査の設置（消防訓練センター建設担当主査）
	消防局主査の設置（交通事故処理担当主査）
	第4回都市消防レンジャー技術競技大会を実施（13署295人）
	緑消防署事務開始（14消防署となり1区1署制になる。）
	保土ヶ谷消防署 西谷消防出張所事務開始（新設）
8月	第5回消防防災水上技術競技大会を実施
	市民の要望に応じて消防防災的見地から検討決定した避難袋の実費頒布を開始

年 月	記 事	
1973年（昭和48年）	9月 神奈川県守屋町 船舶火災 死者1人 電算機導入準備プロジェクトチームを編成	
	10月 港北区茅ヶ崎町 工場火災 地震時に火災を絶対おこさない市民運動「家庭防災予防員のつどい」を開催	
	11月	中区山下ふ頭3号岸壁 貨物船火災
		西区南幸一丁目 プロパン爆発 死者4人 負傷者13人 市民と消防の消防技術競技大会は、各地区大会として実施 消防局長の地震特別講演を市内12箇所の会場で開催
	12月	全署所に対する消防局長視察 野毛消防出張所廃止
	1月	磯子区磯子 住宅火災 死者3人 中消防署 伊勢佐木消防出張所事務開始（再開設）（昭和51年7月廃止） 第10代局長 下田 光太郎 就任
		各区（署）の消防出初式が挙行された。 （本年から各区ごとの消防出初式のみと改められた。）
	2月	消防局三溪園公舎の廃止
	3月	南区高根町 共同住宅都市ガス爆発 死者2人 負傷者2人
		航空消防準備委員会の設置
	4月	緑区子供の国において消防フェア開催（約3万人）
	5月	消防訓練センター建設委員会の設置
	6月	油火災消火技術基本訓練実施（日石根岸精油所において190隊参加）
	6～12月	緑消防署 元石川消防出張所事務開始（新設） 各地において、地震に火災を絶対に起こさない市民の集い実施 参加延人員 約8,201人
	7月	ビル火災実験 （保土ヶ谷化学株式会社廃屋、鉄筋コンクリート造4階建てを利用）
	8月	総務部総務課に消防用地担当副主幹設置 （昭和52年6月機構改革により廃止） 第6回消防防災水上技術競技大会実施（山下公園先海上）
	9月	中区山下ふ頭7号岸壁 船舶火災
		中区新港ふ頭8号岸壁 船舶火災 死者6人 負傷者1人
	11月	消防技術競技大会は、各地区大会として実施（消防隊178隊うち消防団36隊） 中区松影町 共同住宅火災 死者4人 地震災害対策図上演習会実施（消防局屋内訓練センター） 集中豪雨 死者1人 負傷者3人 倒壊家屋56 浸水家屋4,012棟 第5回横浜消防総合美術展開催 （出品284点、出場者3,070人、横浜ステーションビル）
	12月	地震災害対策の計画による職員動員訓練実施 （所属、直近署所動員1,243人動員）
	1974年（昭和49年）	1月 各署（区）の「新春防災のつどい」が市内14会場において挙行された。 消防職員待機宿舎（西戸部寮）の廃止
		3月 鶴見区生麦町 住宅火災

年 月	記 事
1975年（昭和50年）	4月 第2回アジア卓球選手権大会の消防特別警備（4月2日～15日） 中国体育友好代表団団長以下9人来局 南消防署が南総合庁舎に移転、事務開始 旧南消防署を中村町消防出張所として事務開始 井土ヶ谷消防出張所廃止
	5月 第11代局長 松林 義幸 就任
	7月 消防用設備等設置状況の表示、公表制度発足 集中豪雨 倒壊家屋36棟 浸水家屋6、198棟 中国上海曲芸団一行66人来局
	8月 十大都市消防長会議の開催（箱根強羅ホテル） 戸塚区桂町 共同住宅火災 第24回消防親善野球大会の開催（平和球場）
	9月 第3回消防救助技術関東地区指導会開催（県立保土ヶ谷公園） 第3回全国消防救助技術大会開催（県立保土ヶ谷公園）
	11月 戸塚消防署事務開始（建替）
	12月 保土ヶ谷消防署 今井消防出張所事務開始（新設） 南消防署 六ツ川消防出張所事務開始（新設） 鶴見消防署 大黒町消防出張所事務開始（建替） 鶴見区大黒町 船舶火災 死者2人 負傷者5人
	1月 各署（区）の「新春防災のつどい」が市内14会場において举行 神奈川区白幡東町 塗装店火災 死者3人 負傷者3人
	2月 戸塚消防署 豊田消防出張所事務開始（新設）
	5月 戸塚消防署 中田消防出張所事務開始（新設） 緑消防署 鴨居消防出張所事務開始（新設） 港北区太尾町 洋服店火災 死者4人 負傷者2人
	6月 第12代局長 松本 功 就任 消防局指導課危険物第一係、危険物第二係とした。 消防局警備課に通信係を新設 ゲリラ豪雨 浸水家屋365棟 崖崩れ16箇所
	7月 六ツ川消防出張所及び今井消防出張所の水難救助訓練施設（プール）を一般市民に開放（7月1日～8月31日）
9月 港北区綱島東 公衆浴場火災	
10月 集中豪雨 浸水家屋365棟 崖崩れ14箇所	
11月 集中豪雨 死者1人 倒壊家屋3棟 浸水家屋598棟 崖崩れ16箇所 コンピューターによる「自動指令通信システム」運用開始 消防局教育課による消防訓練センター管理担当副主幹、主査を配置 戸塚区柏尾町 工場火災 負傷者1人	
12月 緑消防署川和消防出張所庁舎建替工事のため、緑区川和町1119に一時移転	
1976年（昭和51年）	1月 各区（署）の「新春防災のつどい」が市内14会場において举行 金沢区六浦町 寄宿舍火災 西区平沼一丁目 作業場火災 死者3人
	2月 神奈川区片倉町 住宅火災 死者4人
	4月 横浜市消防訓練センター開庁（校舎、宿舍完成、2課4係）

年 月	記 事
1977年（昭和52年）	音楽隊が総務部音楽隊に昇格
	港南消防署 野庭消防出張所事務開始（新設）
	港北消防署 篠原消防出張所事務開始（新設、50消防出張所となる。）
	5月 第28回全国消防長会総会及び全国消防協会の諸会議が、横浜文化体育館及び横浜商工会議所で開催
	6月 中消防署新庁舎（中区山吹町2-2）完成、移転事務開始
	中消防署 日本大通消防出張所事務開始（新設、庁舎は旧中消防署庁舎）
	7月 伊勢佐木消防出張所廃止
	緑消防署 川和消防出張所新庁舎（建替）完成、仮庁舎から移転、事務開始
	8月 西消防署が建替工事のため、西区岡野二丁目4-3の仮庁舎に移転
	9月 台風17号 死者1人 負傷者1人 倒壊家屋16棟 浸水家屋3,404棟 崖崩れ51箇所
	国際消防長会議出席のため松本局長渡米（9月13日～10月1日）
	11月 消防局予防部に危険物課新設（消防局3部11課となる。）
	1月 市内14区（署）の「新春防災のつどい」が市内14会場において挙行政防訓練センターの屋内訓練場、実務訓練場、車庫完成
	3月 中区新港ふ頭 船舶火災 死者1人
	4月 消防局予防部指導課に特別査察隊発足 （隊長以下17人、南消防署中村町消防出張所に常駐）
	石油コンビナート等災害防止法に基づく3点セット（大型化学車、高所放水車、原液搬送車）を鶴見消防署大黒町消防出張所に配置
	5月 港南区大久保 住宅火災 負傷者1人
	神奈川消防署 片倉消防出張所事務開始（新設）
	6月 第13代局長 川口 弘 就任
	機構改革により消防局に施設課、指令課及び消防訓練センターに研究開発課新設（3部 1訓練センター 15課）
	・総務部 企画課 総務課 人事課 施設課 音楽隊
	・予防部 予防課 危険物課 指導課
	・警防部 警備課 指令課 災害調査課 救助課
・消防訓練センター 管理課 教育課 研究開発課	
港南消防署 港南台消防出張所事務開始（新設）	
鶴見消防署 寺尾消防出張所事務開始（建替）	
7月 米軍鶴見貯油施設（鶴見区安善町）の特別立入検査を実施	
8月 集中豪雨 浸水家屋325棟 崖崩れ6箇所	
第6回消防救助技術関東地区指導会開催（消防訓練センター）	
第6回全国消防救助技術大会開催（消防訓練センター）	
9月 横浜港内第2区 船舶火災	
台風9号 死者1人 倒壊家屋12棟 浸水家屋3,753棟 崖崩れ51箇所	
緑区荏田町 航空機墜落炎上 死者2人 負傷者7人	

年 月	記 事
1978年（昭和53年）	10月 西消防署の新庁舎（建替）完成、仮庁舎から移転、事務開始
	1月 市内14区（署）の「消防出初式」が市内14会場において挙
	3月 鶴見区安善町、米軍鶴見貯油施設立入検査を実施
	4月 金沢消防署 東富岡消防出張所事務開始（旧谷津消防出張所）
	5月 消防訓練センター訓練棟竣工
	港北消防署 高田消防出張所事務開始（新設）
	西消防署 浅間町消防出張所事務開始（建替）
	港北区大曾根町 住宅火災 死者3人
	6月 消防訓練センター消火訓練場竣工
	9月 港南区港南中央通 工務店作業場火災 負傷者1人
	港北消防署事務開始（建替）
	10月 瀬谷消防署 下瀬谷消防出張所事務開始（新設）
鶴見区潮田町 作業場火災	
1979年（昭和54年）	12月 鶴見区生麦 船舶火災 死者1人
	港北区日吉 学校内 薬品爆発 死者1人 負傷者1人
	1月 市内14区（署）の「消防出初式」が市内14会場において挙
	南区別所一丁目 工場火災
	3月 磯子区上町 集会場火災 負傷者1人
	4月 戸塚区舞岡町 住宅火災 死者3人
	5月 鶴見区汐入町 住宅火災 死者3人
	戸塚消防署 吉田消防出張所事務開始（新設）
	神奈川消防署 松見消防出張所事務開始（新設）
	6月 中区本牧三之谷 共同住宅火災 死者3人 負傷者1人
	7月 鶴見区安善町 石油補給所屋外タンク火災
	8月 鶴見消防署 生麦消防出張所事務開始（建替）
9月 鶴見消防署 矢向消防出張所事務開始（建替）	
港北区太尾町 プロパンガス爆発 負傷者5人	
1980年（昭和55年）	10月 戸塚区和泉町 住宅火災 死者3人
	台風20号 死者1人 負傷者43人 倒壊家屋488棟 浸水家屋899棟 崖崩れ9箇所
	11月 瀬谷区阿久和町 工場火災
	中消防署 山手消防出張所事務開始（建替）（平成20年3月廃止）
	磯子消防署増改築工事完了
	12月 保土ヶ谷区上菅田町 共同住宅火災 死者4人 負傷者2人
	1月 市内14区（署）の「消防出初式」が市内14会場において挙
	3月 戸塚消防署 上郷消防出張所事務開始（新設）
	集中降雨 浸水家屋126棟 崖崩れ2箇所
	4月 ヘリコプター運航開始
	第31回全国消防長会関東支部総会を「箱根小湧園」で開催
	南消防署 大岡消防出張所事務開始（建替）
港北消防署 綱島消防出張所事務開始（建替）	
南消防署 中村町消防出張所事務開始（建替）	
神奈川消防署 浦島消防出張所事務開始（建替）	

年 月	記 事	
1981年（昭和56年）	5月 神奈川区羽沢町 プロパンガス爆発 負傷者1人 西区岡野二丁目 倉庫火災 負傷者4人	
	7月 鶴見区向井町 学校 水素ガス爆発 負傷者5人 第14代局長 吉野 潤 就任	
	9月 台風13号 浸水家屋299棟	
	10月 第3回全国消防長会関東支部消防職員柔剣道大会を横浜文化体育館で開催 旭消防署 南本宿消防出張所事務開始（新設） 第9回全国消防長会関東支部婦人消防吏員研修会を横浜市郵便貯金会館で開催	
	11月 横浜市火災予防協会30周年記念式典を横浜文化体育館で開催 中区伊勢佐木町 空家火災 負傷者2人	
	12月 緑区市ケ尾 プロパンガス爆発 負傷者6人	
	1月 「消防局消防出初式」が鶴見区大黒ふ頭で、及び市内14区（署）の「消防出初式」が市内15会場において挙行	
	2月 中区日ノ出町 簡易宿泊所火災 死者3人 負傷者2人 中区長者町 バー火災 負傷者1人 子安消防出張所廃止	
	3月 中区新山下町 倉庫火災 戸塚区矢部町 工場火災	
	4月 戸塚消防署 いずみ野消防出張所事務開始（新設） 消防艇「よこはま」就航（西消防署配置） 港北消防署 新羽消防出張所事務開始（新設） 港南消防署 上永谷消防出張所事務開始（新設）	
	5月 港北区新横浜二丁目 屋外物品集積場火災 負傷者1人 鶴見消防署 岸谷消防出張所事務開始（建替）	
	7月 横浜港内第1区～10号ブイ 船舶火災 集中豪雨 倒壊家屋7棟 浸水家屋522棟 崖崩れ4箇所 第6回神奈川県下消防救助技術指導会開催（消防訓練センター） 第10回消防救助技術関東地区指導会開催（消防訓練センター）	
	8月 第10回全国消防救助技術大会開催（消防訓練センター） 城郷消防出張所が建替を行い、菅田消防出張所と名称変更し、事務開始	
	10月 金沢区長沢 貯油所地下タンク爆発 負傷者2人 台風24号 倒壊家屋16棟 浸水家屋424棟 崖崩れ34箇所 神奈川区三ツ沢町 都市ガス爆発 全壊3棟 半壊2棟 一部壊44棟 負傷者8人 瀬谷消防署 中瀬谷消防出張所事務開始（建替）	
	11月 港南区笹下 住宅火災 死者4人 負傷者1人	
	1982年（昭和57年）	1月 「消防局消防出初式」が鶴見区大黒ふ頭で、市内14区（署）の「消防出初式」が市内15会場において挙行された
		2月 中区海岸通り大栈橋C号岸壁 船舶火災 負傷者9人
		4月 横浜ヘリポート事務開始 緑消防署 十日市場消防出張所事務開始（建替） 金沢消防署 釜利谷消防出張所事務開始（新設）

年 月	記 事
1983年（昭和58年）	旭消防署 若葉台消防出張所事務開始（新設） 戸塚消防署 鳥が丘消防出張所事務開始（新設）
	5月 希望ヶ丘消防出張所が建替を行い、さちが丘消防出張所と名称変更し事務開始
	6月 第15代局長 独古 哲世 就任
	7月 第7回神奈川県下消防救助技術指導会開催（消防訓練センター） 第11回消防救助技術関東地区指導会開催（消防訓練センター）
	8月 第11回全国消防救助技術大会開催（消防訓練センター） 台風10号 死者1人 負傷者3人 倒壊家屋106棟 浸水家屋2棟 崖崩れ12箇所
	9月 台風18号 死者1人 負傷者18人 倒壊家屋179棟 浸水家屋7,802棟 崖崩れ306箇所
	1月 昭和58年消防出初式が横浜ヘリポートで挙行された
	2月 消防音楽隊女子隊員の名称を「ポートエンジェルス119」と市長が命名 戸塚消防署 岡津消防出張所事務開始（建替）
	3月 昭和57年海外技術供出功労団体として横浜市消防局が外務大臣表彰を受けた 消防局屋上にヘリコプター2号機導入に伴う自動追尾装置の工事が完了
	4月 横浜市民防災センター完成 港北消防署 日吉消防出張所事務開始（建替） 瀬谷消防署 阿久和消防出張所事務開始（新設）
	1984年（昭和59年）
6月 戸塚消防署 東戸塚消防出張所事務開始（新設） 昭和58年横浜市消防救助技術大会開催（消防訓練センター） 磯子消防署 洋光台消防出張所事務開始（新設）	
7月 第8回神奈川県下消防救助技術指導会開催（消防訓練センター）	
9月 消防救急50周年記念式典が行われる（市民防災センター）。 六都県合同防災訓練実施「みなとみらい21」計画区域内	
10月 警防技術大会開催（消防訓練センター） 消防音楽隊 上海派遣 第2回神奈川県消防職員野球大会開催（横浜スタジアム）	
11月 大都市消防長会議開催（市民防災センター）	
1月 昭和59年消防出初式をみなとみらい計画区域において挙行	
2月 横浜市民消防感謝会を開催（横浜文化体育館）	
3月 横浜市危険物規制規則の全部改正 危険物規制事務処理規程の全部改正 港南消防署 芹が谷消防出張所事務開始（新設、下永谷消防出張所から移転）	
4月 横浜市消防職員剣道大会を開催（市民防災センター） 金沢消防署 六浦消防出張所事務開始（建替、旧庁舎から移転） 中消防署 山元町消防出張所事務開始（新設）	



年 月	記 事
1985年（昭和60年）	緑消防署 白山消防出張所事務開始（新設） 緑消防署 鴨志田消防出張所事務開始（新設）
	5月 第17回消防漕艇技術大会開催（山下公園）
	6月 消防救助技術大会開催（消防訓練センター） 水害対策総合訓練実施（緑区鴨居） 地震対策計画の改正が行われ、「地震対策消防計画」が施行された。
	9月 第9回消防救助技術神奈川県指導会開催（消防訓練センター）
	9月 消防操法技術大会・基本技術の部開催（消防訓練センター）
	10月 家庭防災員制度発足15周年記念行事開催（防災センター）
	11月 日本消防協会主催 第9回全国消防操法大会（消防用）開催（消防訓練センター）
	11月 消防操法技術大会・ポンプ操法の部開催（消防訓練センター） 五大都市剣道大会開催（県立武道館）
	12月 第3回神奈川県下消防職員野球大会（横浜スタジアム）
	1月 昭和60年消防出初式を「みなとみらい21」計画区域内で挙
	2月 横浜市民消防感謝会を開催（横浜文化体育館）
3月 鶴見消防署 入船消防出張所事務開始（建替）	
4月 金沢消防署 幸浦消防出張所事務開始（新設） 旭消防署 市沢消防出張所事務開始（新設） 西水上消防出張所が建替のため、鶴見水上消防出張所として事務開始（建替）	
5月 火災予防査察規程の全部改正 消防漕艇技術大会開催（山下公園）	
6月 横浜市水害対策合同訓練実施（鶴見区末吉町先） 機構改革により 1 予防課に地域指導係を新設 2 危険物の事務簡素化・合理化し3係のうち1係を削り統合した。 3 危険物担当主査を廃止し、指導担当主査を新設した。	
7月 台風6号 負傷者2人 一部壊66棟 床上浸水2棟 床下浸水18棟 横浜市消防救助技術大会開催（消防訓練センター）	
9月 6都県市合同防災訓練 消防局長、中国北京市の要請により訪問（8日間）	
10月 横浜市文書取扱規程全部改正 市民防災の日、200回記念のつどい開催（横浜スタジアム） 第1回全国婦人消防操法大会が消防訓練センターで行われた。	
11月 磯子区杉田一丁目 ビル火災 負傷者1人	
1986年（昭和61年）	1月 昭和61年消防出初式を「みなとみらい21」計画区域内で挙 消防艇「あけぼの」進水式
2月 横浜市民消防感謝会を開催（横浜文化体育館）	
3月 中消防署 北方消防出張所事務開始（建替） 磯子水上消防出張所事務開始（建替）（平成20年3月廃止）	
4月 緑消防署 佐江戸消防出張所事務開始（新設）	
5月 消防漕艇技術訓練会（山下公園）	
6月 横浜市消防局、消防署係設置規程の改正により 1 消防訓練センター管理課の執務係が廃止された。	

年 月	記 事
	2 消防署庶務課に経理係が新設された。
	横浜市水害対策合同訓練（港北区樽町二丁目先）
	横浜市消防救助訓練指導会開催（消防訓練センター）
7月	第11回県下消防救助訓練指導会開催（消防訓練センター）
	保土ヶ谷区今井町 製作所塩素ガス・亜硫酸ガス漏洩事故 負傷者17人
8月	6都県市合同防災訓練実施
9月	南区睦町 配水管布設工事現場爆発事故 死者1人 負傷者3人
10月	消防操法技術訓練会開催
	第10回全国消防操法大会開催（消防訓練センター）
	地震災害に見舞われた中米エルサルバドルに国際消防救助隊チームとして 当局から4人派遣された。
	第2回全国婦人消防操法大会開催（消防訓練センター）
1987年（昭和62年）	1月 昭和62年消防局出初式を「みなとみらい21」計画区域内で挙
	2月 保土ヶ谷消防署 本陣消防出張所事務開始（増築）
	鶴見消防署 末吉消防出張所事務開始（増築）
	鶴見区市場西中町 工場出火 負傷者1人
4月	消防指令センター建設、新消防通信施設に更新、運用開始
	旭消防署 今宿消防出張所事務開始（新設）
	横浜市消防局組織規則の一部改正により、消防職員についても一般職員と 同様、階級の分化及びわかりやすい呼称などにした。専任主幹を担当理事、 主幹を担当部長、主査を担当係長に改め、部次長、課長補佐、副主任制度 が設けられた。
5月	第39回全国消防長会総会の開催（横浜文化体育館）
6月	第16代局長 岩崎 森治 就任
	消防技術訓練指導会開催（消防訓練センター）
	課の業務内容を明確に表すため「救助課」を「救急救助課」に改めた。
	戸塚消防署に栄区・泉区を担当する消防局担当課長及び担当係長を設置し た。
	新たに情報管理業務を担当することになったため、「通信係」を「情報通 信係」に改めた。
	横浜市水害対策合同訓練実施（緑区鴨居町先）
7月	第12回神奈川県下救助技術指導会（消防訓練センター）
	横浜・上海消防交流事業に伴い、上海市公安局から、4人の考察団が11日 間にわたり、合意書に基づき交流を行った。
9月	6都県市合同防災訓練実施
10月	鶴見消防署事務開始（建替）
	消防操法技術訓練会（消防訓練センター）
1988年（昭和63年）	1月 昭和63年消防出初式を「みなとみらい21」計画区域内で挙
	4月 本郷消防出張所を増改築し、栄消防署として事務開始
	中和田消防出張所を増改築し、泉消防署として事務開始
	緑消防署 すずき野消防出張所事務開始（新設）
	全国消防長会関東支部事務局が、川崎市から横浜市消防局総務課に移管さ れた。

年 月	記 事
6 月	神奈川県下消防救助技術指導会開催（消防訓練センター） 横浜・上海消防交流事業に基づき、当局から波多野総務部長以下4人が中国上海市公安局の招きにより訪問した。
7 月	消防局組織機構の改正 1 総務部企画課の再編 「企画課（企画係、消防対策係）」を「企画課担当係長（企画担当）、担当係長（調整担当）」に再編した。 2 予防部予防課の再編 地域指導係と広報係を統合し、広報普及係とした。 3 横浜ヘリポートの再編 管制科と航空科を統合し、航空管制科とした。 4 消防水利関係業務の統合 総務部企画課の再編に伴う、宅地開発に係る防災指導業務の移管等消防水利関係業務の統合を図るため、警防部警防課計画係の分担事務の整備を行うとともに、防災指導業務の移管という観点から計画係の組織名称を防災計画係とした。 5 横浜博覧会消防出張所の設置 消防救助技術関東地区指導会の開催（消防訓練センター）
8 月	中区本牧ふ頭シンボルタワー付近広場 コンサート中に興奮して過換気症候群になったもの 負傷者25人 大雨による被害 倒壊家屋3棟 浸水家屋26棟 崖崩れ8箇所 全国消防救助技術大会開催（消防訓練センター）
10 月	第11回全国消防操法大会支援（消防訓練センター） 第4回全国婦人消防操法大会支援（消防訓練センター）
1989年（平成元年）	2 月 西消防署博覧会消防出張所事務開始 神奈川区橋本町 船舶火災 死者10人 負傷者13人
4 月	金沢消防署 能見台消防出張所事務開始（新設） 中区本牧埠頭A突堤2号バース 船舶火災
5 月	第17代局長 波多野 誠一 就任 消防局組織機構の改正 1 警防部の再編 災害調査課監察係を当直制の係（現場指揮第一係、現場指揮第二係）として警備課に位置付け、課及び係の組織名称をそれぞれ警防課警防係とした。 また警備課の防災計画係及び災害調査課の調査係を計画課（新設）に位置付け、それに伴い災害調査課は廃止した。 2 予防部指導是正指導担当係長の廃止 戸塚消防署 大正消防出張所事務開始（建替）
7 月	県下消防救助技術指導会（消防訓練センター） 横浜国際都市防災会議の開催（横浜アリーナ他） 横浜防災システム展'89の開催（横浜アリーナ） 横浜・上海消防交流事業に基づき、上海消防考察团团長以下4名を10日間受入れ、消防技術交流を実施した。

年 月	記 事
1990年（平成2年）	大雨による被害 一部壊3棟 床上浸水303棟 床下浸水890棟 非住家被害39棟 がけ崩れ13箇所
	8月 花火大会事故 山下公園前海上の船台で花火玉爆発 死者2人 負傷者7人
	9月 第5回全国婦人消防操法大会支援（消防訓練センター） 緑区折本町 倉庫火災 負傷者1人
	10月 西消防署博覧会消防出張所閉所
	1月 平成2年消防出初式を「みなとみらい21」計画区域内で挙
	3月 磯子区杉田五丁目 共同住宅出火 死者1人 負傷者2人
	4月 戸塚消防署 深谷消防出張所事務開始（新設）
	8月 大雨による被害 床上浸水51棟 床下浸水46棟 非住家被害16棟
	9月 台風20号 一部壊13棟 床上浸水601棟 床下浸水734棟 非住家被害382棟 がけ崩れ31箇所 道路不通51箇所 皇太子の行啓に伴う救助訓練の実施（消防訓練センター）
	10月 第12回全国消防操法大会支援（消防訓練センター） 第6回全国婦人消防操法大会支援（消防訓練センター）
1991年（平成3年）	11月 横浜・上海消防交流事業に基づき、波多野局長以下5名が中国上海市公安局の招きにより訪問した。
	1月 平成3年消防出初式を「みなとみらい21」計画区域内で挙
	3月 消防防災シンポジウムの開催 戸塚区上矢部町 工場火災
	6月 第18代局長 小西 治義 就任 県下消防救助技術指導会（消防訓練センター）
	7月 神奈川消防署（総合庁舎）増改築工事竣工 中区本牧埠頭B突堤1号バース 船舶火災
	9月 横浜・上海消防友好交流事業に基づき、上海市から団長以下5名の考察団が来局、10日間に渡り交流を行った。 横浜市救急救命士養成所の開設
	台風18号 半壊1棟 一部壊22棟 床上浸水115棟 床下浸水157棟 非住家被害107棟 がけ崩れ45箇所
	10月 第7回全国婦人消防操法大会支援（消防訓練センター）
	11月 消防防災シンポジウムの開催 中区山下町 店舗火災
	12月 港北消防署 小机消防出張所事務開始（新設）
1992年（平成4年）	1月 平成4年消防出初式を「みなとみらい21」計画区域内で挙
	4月 高規格救急車の導入
	6月 県下消防救助技術指導会（消防訓練センター）
	7月 大雨による被害 一部壊1棟 床上浸水1棟 床下浸水11棟 非住家被害8棟 がけ崩れ1箇所 道路不通1箇所
	10月 第8回全国婦人消防操法大会支援（消防訓練センター） 第13回全国消防操法大会支援（消防訓練センター）
	11月 横浜・上海消防友好交流事業に基づき、小西局長以下5名が中国上海市の招きにより訪問した。
	11月 消防防災シンポジウムの開催

年 月	記 事	
1993年（平成5年）	1月 平成5年消防出初式を「みなとみらい21」計画区域内で挙	
	2月 港北区新羽町 倉庫火災 泉消防署 緑園消防出張所事務開始（新設）	
	4月 第19代局長 久留 正海 就任	
	5月 消防局組織機構改革 1 高齢化社会の進展等に伴う救急需要の増加等に対応した救急高度化事業の円滑な推進を図るため、救急課を新設。救急課に救急企画係及び救急指導係を設置し、救急救助課は廃止した。 2 救急救助課救助係を警防課救助係とした。	
	6月 第18回神奈川県下消防救助技術指導会（消防訓練センター）	
	7月 第22回消防救助技術関東地区指導会（消防訓練センター）	
	8月 「横浜市救急指導医制度」の運用開始 台風11号 負傷者1人 全壊1棟 一部壊8棟 床上浸水4棟 床下浸水4棟 非住家被害7棟 かけ崩れ18箇所	
	10月 第9回全国婦人消防操法大会支援（消防訓練センター）	
	11月 上海市防災救災考察団が消防局を視察 大雨による被害 一部壊4棟 床上浸水370棟 床下浸水301棟 非住家被害220棟 かけ崩れ14箇所 橋りょう欠損1箇所 河川決壊1箇所 磯子消防署 杉田消防出張所事務開始（建替） 「市民防災の日」300回記念のつどい開催（横浜文化体育館）	
	1994年（平成6年）	1月 平成6年消防出初式を「みなとみらい21」計画区域内で挙
		2月 中消防署 山下町消防出張所（研修所併設）事務開始（建替） 日本大通消防出張所廃止
3月 消防防災シンポジウムの開催		
4月 保土ヶ谷消防署 権太坂消防出張所事務開始（新設）		
7月 消防局組織機構改革 消防署の警防体制を充実・強化するため、6消防署に警備担当課長を設置した（鶴見、西、南、磯子、栄、瀬谷）。 第19回神奈川県下消防救助技術関東指導会（消防訓練センター） 消防救助技術関東地区指導会（消防訓練センター） 神奈川県消防操法大会（消防訓練センター）		
8月 第23回全国消防救助技術大会（京都市消防学校）		
10月 第14回消防操法大会支援（消防訓練センター）		
11月 第10回全国婦人消防操法大会支援（消防訓練センター） 神奈川県下消防職員野球大会（横浜スタジアム） 青葉消防署事務開始（新設） 都筑消防署（仮庁舎）事務開始（新設）		
1995年（平成7年）		1月 平成7年消防出初式を「みなとみらい21」計画区域内で挙 阪神淡路大震災応援出場
		4月 横浜駅異臭事故災害 負傷者100人 消防ヘリコプター「はまちどり 1」更新 都筑消防署新庁舎（総合庁舎）へ移転、事務開始
		6月 第20代局長 前川 友三 就任

年 月	記 事	
1996年（平成8年）	消防局組織機構改革 消防署の警防体制を充実・強化するため、6消防署に警備担当課長を設置した（神奈川、中、港南、保土ヶ谷、青葉、都筑）。 横浜市民防災センター展示施設の新装開館	
	8月 第24回全国消防救助大会（北九州市文化記念公園）	
	9月 台風12号 負傷者3人 半壊1棟 一部壊62棟	
	10月 第11回全国婦人消防操法大会支援（消防訓練センター）	
	11月 中国遼寧省消防協会が消防局視察	
	1月 平成8年消防出初式を「西区みなとみらい一丁目」で挙	
	4月 消防局組織機構改革 消防署の警防体制を充実・強化するため、6消防署に警備担当課長を設置した（旭、金沢、港北、緑、戸塚、泉）。 上海市消防局幹部来局 特殊災害対応隊発足	
	5月 第48回全国消防長総会の開催（パシフィコ横浜）	
	7月 消防訓練センター創立20周年記念式典 栄消防署改修工事竣工記念式典	
	8月 第25回全国消防救助技術大会 （陸上：札幌市消防訓練場 水上：札幌平岸プール）	
	10月 横浜市消防団員市長表彰式（パシフィコ横浜） 第12回全国婦人消防操法大会支援（消防訓練センター） 第15回消防操法大会支援（消防訓練センター）	
1997年（平成9年）	11月 泉消防署事務開始（建替）	
	1月 平成9年消防出初式を「西区みなとみらい一丁目」で挙	
	2月 西消防署 境之谷消防出張所事務開始（建替）	
	4月 第21代局長 西村 浩 就任 救助機動中隊発足 消防ヘリコプター「はまちどり 2」更新	
	5月 青葉消防署 荏田消防出張所事務開始（新設）	
	6月 台風7号 負傷者6人 一部壊27棟 非住家一部壊5棟 道路不通1箇所 鉄道不通1箇所 停電4,540戸	
	7月 東京湾油流出事故	
	8月 第26回全国消防救助技術大会（千葉県消防学校） 横浜・上海市消防技術交流	
	10月 全国消防長会関東支部常任理事会 第13回全国婦人消防操法大会支援（消防訓練センター）	
	1998年（平成10年）	1月 平成10年消防出初式を「西区みなとみらい一丁目」で挙
		3月 暴風 重傷2人 軽傷13人 一部破損3棟 非住家全壊1棟
7月 大雨・洪水 一部破損3棟 床上浸水90棟 床下浸水171棟		
8月 第27回全国消防救助技術大会（大阪市消防学校）		
9月 台風5号 軽傷1人 一部破損1棟 床上浸水3棟		
10月 第16回全国消防操法大会支援（消防訓練センター）		
11月 横浜・上海市消防技術交流		

年 月	記 事
1999年（平成11年）	1月 平成11年消防出初式を「西区みなとみらい一丁目」で挙 4月 中消防署 本牧和田消防出張所事務開始（新設） 5月 鶴見区鶴見中央五丁目 建物火災 死者7人 6月 第24回神奈川県下消防救助技術指導会（消防訓練センター） 7月 第28回消防救助技術関東地区指導会（消防訓練センター） 8月 第28回全国消防救助技術大会（消防訓練センター） 緑区白山三丁目 アセチレンボンベ爆発 負傷者10人 10月 第14回全国婦人消防操法大会支援（消防訓練センター）
2000年（平成12年）	1月 平成12年消防出初式を「西区みなとみらい一丁目」で挙 3月 都筑消防署 仲町台消防出張所事務開始（新設） 4月 消防局組織機構改革 1 警防部警防課の再編 現場指揮第一係と現場指揮第二係を統合し、現場指揮係を設置した。 2 消防訓練センター研究開発課の再編 研究係と開発係を統合し、研究開発係を設置した。 8月 第29回全国消防救助技術大会（熊本市荒尾町・多目的広場） 10月 第17回全国消防操法大会支援（消防訓練センター）
2001年（平成13年）	1月 平成13年消防出初式を「西区みなとみらい一丁目」で挙 4月 第22代局長 河内 輝雄 就任 消防局組織機構改革 1 総務部総務課の再編 総務課に消防団係を設置し、事故処理担当係長を廃止した。 2 横浜市民防災センター副所長の廃止 中区錦町 複合用途建物火災 死者3人負傷者1人 8月 第30回全国消防救助大会 （陸上：東京消防庁豊洲訓練場 水上：辰巳国際水泳場） 10月 第15回全国女性消防操法大会支援（消防訓練センター） 12月 港南区大久保三丁目 養護老人ホーム火災 負傷者20名
2002年（平成14年）	1月 平成14年消防出初式を「西区みなとみらい一丁目」で挙 2月 磯子消防署事務開始（建替） 3月 中区伊勢佐木町 複合用途建物火災 負傷者20人 中区山下町 飲食店舗火災 負傷者1人 5月 2002FIFAワールドカップ消防特別警備実施 7月 台風7号 一部破損1棟、床上浸水8棟、床下浸水41棟、非住家被害34件、 鉄道不通1箇所、その他の被害22箇所 8月 第31回全国消防救助技術大会（名古屋市消防学校） 戸塚区戸塚町 共同住宅火災 負傷者10人 10月 第18回全国消防操法大会支援（消防訓練センター）
2003年（平成15年）	1月 平成15年消防出初式を「西区みなとみらい一丁目」で挙 2月 鶴見消防署 駒岡消防出張所事務開始（建替） 4月 消防局組織機構改革 1 予防部及び消防署予防課の再編 (1) 消防法令の改正に基づく新たな点検制度の普及や法令違反の是正強

年 月	記 事
	<p>化等を図るため、査察係と査察企画係からなる査察課を設置した。</p> <p>(2) 予防部危険物課の廃止</p> <p>(3) 予防部指導課の再編 指導課指導係の発展的な廃止。危険物課の廃止に伴い、指導課内に危険物係を設置し、許認可等の指導業務を統一的に処理する体制とした。</p> <p>(4) 消防署予防課の再編 予防部の再編に合わせ、消防署予防課を4係（予防係・査察係・危険物係・消防設備係）から3係（予防係・査察係・指導係）に再編した。</p> <p>2 総務部企画課及び警防部指令課の再編 企画課担当係長（調整担当）を企画課担当係長（情報担当）に、指令課情報通信係を指令課システム管理係に変更した。</p> <p>3 予防部指導課消防設備担当課長、総務部人事課担当係長（職員担当）、警防部指令課担当係長（システム管理担当、指令管制担当）を機構化した。</p>
2004年（平成16年）	<p>5月 磯子区新磯子町 工場火災 負傷者1人</p> <p>6月 第28回神奈川県下消防救助技術指導会（消防訓練センター）</p> <p>7月 第32回消防救助技術関東地区指導会（消防訓練センター）</p> <p>8月 第32回全国消防救助技術大会（仙台市泉総合運動場）</p> <p>10月 第16回全国女性消防操法大会支援（消防訓練センター）</p> <p>11月 横浜救急70周年記念式典</p> <p>1月 平成16年消防出初式を「西区みなとみらい一丁目」で挙行政</p> <p>4月 消防局組織機構改革</p> <p>1 総務部企画課担当係長（改革推進担当）の設置</p> <p>2 警防部指令課担当係長（システム管理担当）の廃止</p> <p>8月 横浜救助40周年記念シンポジウム 「横浜救助40周年の軌跡」（横浜シンポジア）</p> <p>第33回全国救助技術大会（兵庫県立広域防災センター）</p> <p>11月 第19回全国消防操法大会支援（横浜国際総合競技場）</p>
2005年（平成17年）	<p>3月 横浜市救急救命士養成所事務開始（横浜市立大学から移管）</p> <p>4月 第23代局長 橘川 和夫 就任</p> <p>消防局組織機構改革</p> <p>1 横浜ヘリポート整備科担当係長の設置</p> <p>2 横浜ヘリポート航空管制科担当係長の廃止</p> <p>7月 市内震度5弱の地震発生 鶴見区生麦 住宅火災 死者3人</p> <p>8月 第34回全国消防救助技術大会 （陸上：岩槻文化公園・水上：県営大宮公園水泳場）</p> <p>10月 第17回全国女性消防操法大会支援（消防訓練センター）</p>
2006年（平成18年）	<p>4月 局再編成により安全管理局を設置 （消防の持つ機動力と総務局所管の危機管理機能、市民局所管の防犯支援機能を一体化させ、大都市横浜における市民生活の安全確保を総合的に取</p>



年 月	記 事
	<p>り組む局となり、局の名称を横浜市消防局から横浜市安全管理局に変更した。)</p> <p>安全管理局組織機構改革</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 危機管理担当理事の新設</li> <li>2 危機管理室の新設 危機管理室を設置し、旧総務局が所管する「危機管理に係る計画及び総合調整」等の業務を継承し、所管した。 また、危機管理室内に担当課長（5人）を新設した。</li> <li>3 地域安全支援課の新設 予防部内に新たに地域安全支援課を設置し、旧市民局所管の「防犯対策の企画及び連絡調整」等の業務と、旧総務局所管の「地域防災活動の支援」等の業務を所管するとともに、子どもの安全対策を推進する担当課長を新設した。</li> <li>4 指令課担当課長の新設 夜間・休日を含めた危機管理体制の一層の強化を図るため、指令課に担当課長（2人）を配置し、課長級による当直体制とした。</li> <li>5 管理課と研究開発課の統合、指導課設備担当課長の廃止 管理課と研究開発課を統合して管理・研究課を設置するとともに、指導課設備担当課長を廃止した。</li> <li>6 教育課担当係長（救急救命士等養成担当）の新設 救急業務の高度化（救急救命士の処置範囲の拡大等）に伴う、救急関連教育の専門化・高度化に対応するため、教育課に担当係長（救急救命士等養成担当）を新設した。</li> <li>7 音楽隊の組織上の位置づけ変更 音楽隊を総務課の係として位置づけた。</li> <li>8 計画課防災計画係の係名称変更 計画課「防災計画係」の係名称を「計画係」に変更した。</li> </ol> <p>6月 「全国消防長会 第58回 総会」及び「ヨコハマ セーフティーフェア06」の開催（パシフィコ横浜） 第31回 神奈川県消防救助技術指導会（消防訓練センター）</p> <p>7月 第35回 消防救助技術関東地区指導会（消防訓練センター）</p> <p>8月 第35回 全国消防救助技術大会 （陸上：札幌市消防学校・水上：札幌市平岸プール）</p> <p>10月 「横浜市子どもの安全の日」制定（毎月1日・10日） 緊急対策チーム創設</p> <p>11月 都筑消防署 北山田消防出張所事務開始（新設） 都筑消防署 勝田消防出張所廃止</p>
2007年（平成19年）	<p>4月 安全管理局機構改革</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 消防署の部長級事務所への昇格</li> <li>2 消防署長・副署長の区役所安全管理担当の兼務 大規模災害などの危機発生時、夜間・休日に区役所の体制が整うまでの間、消防署が初期対応を担うとともに、平常時においても区との知識や情報の共有化を図っていくため兼務した。</li> </ol>

年 月	記 事
2008年（平成20年）	3 危機管理室担当係長（区役所危機管理担当係長兼務）の新設 区役所の危機管理機能を強化するため、危機管理室に担当係長を新設した。
	4 名称変更及び事務移管を実施 (1) 予防部予防課の係名称変更及び事務移管 (2) 消防署の広聴に関する事務移管 (3) 警防部指令課の課及び係の名称変更
	磯子区滝頭二丁目、久木町 連続マーケット火災
	8月 第36回 全国消防救助技術大会 (陸上：東京消防庁 夢の島消防訓練場・水上：辰巳国際水泳場)
	10月 「横浜市子どもの安全の日」啓発イベント（みなとみらい21地区46街区） 第18回 全国女性消防操法大会支援（消防訓練センター）
	3月 中消防署 山手消防出張所廃止 磯子消防署 磯子水上消防出張所廃止
	4月 第24代局長 上原 美都男 就任 安全管理局機構改革 1 安全管理局次長の新設 2 危機管理室のライン化 3 危機対処計画課担当係長（区役所危機管理担当係長兼務）の増設 4 総務課担当係長の新設 5 司令課担当係長の新設 6 港北消防署及び栄消防署への警備第三課長の新設 市民サービスの向上と、効率的な業務執行・職員的能力開発を目的とした執行体制の見直しに伴い、警備第三課長を新設した。
	金沢区福浦一丁目 工場 薬品爆発 死者1人 負傷者1人
	8月 第37回 全国消防救助技術大会 (陸上：北九州市「勝山公園」・水上：北九州市「勝山市民プール」)
	11月 緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練（新横浜公園）
12月 戸塚区俣野町 住宅火災 死者3人	
2009年（平成21年）	1月 新春 安全・安心フェスティバル（赤レンガ倉庫イベント広場）
	3月 神奈川消防署 入江町消防出張所廃止 戸塚区東俣野町 文化財火災
	4月 安全管理局機構改革 1 危機管理室長の新設 2 戦略企画官及び戦略企画官補の新設 3 新型インフルエンザ担当係長の新設 4 危機対処計画課担当係長（区役所危機管理担当係長兼務）の増設 5 地域防災拠点及び防災食糧備蓄の事務を危機管理課へ移管 6 音楽隊を横浜市民防災センターへ移管
	6月 第34回 神奈川県消防救助技術指導会（消防訓練センター）
	7月 第38回 消防救助技術関東地区指導会（消防訓練センター）
	8月 第38回 全国消防救助技術大会（消防訓練センター）
	10月 第19回 全国女性消防操法大会支援（消防訓練センター）

年 月	記 事
2010年（平成22年）	<p>1月 金沢区 日本カーリット火災</p> <p>4月 第25代局長 鈴木 洋 就任</p> <p>消防局組織機構改革</p> <p>1 局名称の変更 所管業務のわかりやすさの観点から、局名称を安全管理局から改めて消防局に変更した。</p> <p>2 安全管理局次長の廃止・危機管理担当理事の設置 危機管理監の消防局長兼務解消に伴い、安全管理局次長を廃止した。また、本市における危機管理機能の強化を図るため、危機管理担当理事を設置した。</p> <p>3 総務課担当課長及び総務課担当係長の設置 局内における内部統制・監察機能の強化、業務の性質上止む得ず発生する事故及び訴訟等についての的確に対応することを目的として、総務課担当課長及び総務課担当係長を設置した。</p> <p>4 横浜市民防災センターの予防部への編入 横浜市民防災センターは、演奏活動を通じた防災広報及び防災知識の普及等の予防行政の推進が主たる業務であることから、予防部に編入し、より一体的な予防業務の推進が可能な体制とした。</p> <p>5 教育課教育第一係及び教育第二係の廃止 消防訓練センター教育課の教育第一係及び教育第二係を廃止し、より柔軟に業務が推進できる体制とした。</p> <p>6 戦略企画官及び戦略企画官補の廃止 中長期的な政策形成等の機能を各区局の企画担当課が担うこととされたため、戦略企画官及び戦略企画官補を廃止した。</p> <p>横浜市南消防団発足（南区の寿消防団と大岡消防団が統合）</p> <p>8月 第39回 全国消防救助技術大会（京都市消防活動総合センター）</p> <p>11月 2010年日本APEC横浜開催 (11月1日消防特別警備現地本部設置 11月15日消防特別警備終了)</p> <p>横浜市消防操法技術訓練会（消防訓練センター）</p>
2011年（平成23年）	<p>1月 横浜消防出初式 2011（横浜赤レンガ倉庫イベント広場）</p> <p>3月 東日本大震災応援出場</p> <p>5月 消防局組織機構改革</p> <p>1 危機管理室長及び危機管理部長の設置 危機管理施策の責任の明確化のため、危機管理室長を理事級の機構とし、危機管理担当理事を廃止した。 また、危機管理全般業務の執行のほか、災害対策警戒本部長として災害対応を図る危機管理部長を設置した。</p> <p>2 緊急対策課担当係長の設置 平成24年度「九都県市合同防災訓練」の業務を担うため、担当係長を設置した。</p> <p>3 警防課機構改革の実施 (1) 警防係の事務分掌の変更 警防施策全般の統括・管理機能強化を図るとともに、課の庶務担当</p>

年 月	記 事
2012年（平成24年）	係として、資機材管理や予算関連業務などの経常業務を所管した。
	(2) 対策係の設置
	消防隊等の運用や戦術の確立等の警防施策を強力に推進することを目的として、対策係を設置した。
	(3) 訓練救助係の設置及び担当係長の配置
	現場指揮係及び救助係の事務を統一的に実施するため、訓練救助係を設置した。
	また、訓練救助係の担当業務を推進し、特別高度救助部隊とともに現場監察及び指揮支援業務を担う、警防課担当係長を設置した。
	4 港北消防署及び栄消防署警備第三課長の廃止
	3部制の廃止に伴い、警備第三課長を廃止した。
	7月 青葉消防署 青葉台消防出張所事務開始（新設）
	青葉消防署 藤が丘消防出張所廃止
	8月 神奈川区 六角橋商店街火災
	中区大さん橋 イベント中に熱中症になったもの 負傷者36人
	第40回 全国消防救助大会中止(さいたま市)
	10月 第20回 全国女性消防操法大会支援（消防訓練センター）
	11月 磯子区 日本電源開発株式会社磯子火力発電所火災
	12月 青葉消防署 奈良消防出張所事務開始（新設）
	1月 横浜消防出初式2012（横浜赤レンガ倉庫イベント広場・赤レンガパーク）
2月 瀬谷消防署事務開始(建替)	
3月 Bo-sai2012（山下公園）	
緑消防署 長津田消防出張所事務開始(建替)	
4月 第26代局長 荒井 守 就任	
消防局組織機構改革	
1 総務部企画課改革推進担当係長の廃止	
企画課の執行体制を効率化するため、総務部企画課改革推進担当係長を廃止した。	
2 予防部予防課の係制の廃止	
予防部予防課の所管事務について、より効果的・効率的に推進するため、係制を廃止した。	
3 警防部警防課担当係長の増設	
特殊災害対策に関する体制を強化するため、警防部警防課担当係長を増設した。	
4 予防部横浜市民防災センター所長の警防部警防課担当課長兼務	
横浜市民防災センターに配置する特別高度救助部隊の日常的な管理等の業務を担当するため、予防部横浜市民防災センター所長が警防部警防課担当課長を兼務することとした。	
5 警防部救急課担当係長の廃止	
消防法の改正による医療機関との連携に関する業務を担当していた警防部救急課担当係長を廃止した。	
6 事務分掌の変更	
(1) 総務部総務課及び消防署庶務課の事務分掌変更	

年 月	記 事
2013年(平成25年)	<p>財団法人横浜市防火協会に関する事務の廃止に伴い、総務部総務課及び消防署庶務課の該当事務分掌を廃止した。</p>
	(2) 予防部査察課の事務分掌変更
	<p>査察課の事務分掌に、液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律に基づく液化石油ガス器具等の販売の事業を行う者に関する表示監視に関することを加えた。</p>
	5月 中区新山下一丁目 複合用途建物火災 負傷者10人
	8月 第41回 全国消防救助技術大会
	(陸上：ゆりかもめ新豊洲駅前 水上：東京辰巳国際水泳場)
	1月 横浜消防出初式2013(横浜赤レンガ倉庫イベント広場・赤レンガパーク)
	3月 Bo-sai2013 (山下公園)
	4月 消防局組織機構改革
	1 危機管理室の移管
	<p>危機管理をはじめとする市民の安全に関する総合的な業務について、統括・調整機能をより発揮できる総務局へ移管した。</p>
	2 予防部地域安全支援課の移管
	<p>定期的な地域防犯業務について、市民活動を総合的に支援する市民局へ移管した。</p>
3 人事課機構改革の実施	
<p>不祥事防止に向けた取組や職員の人材育成をより一層推進するため、人材育成・監察担当課長及び担当係長を設置した。</p>	
<p>あわせて、教育課から消防職員の人材育成の指針に係る業務を移管した。</p>	
<p>また、厚生係の所管業務と人事係の労務・給与に係る業務を統一的に実施するため、厚生係長及び職員担当係長を廃止し、労務厚生係長を設置した。</p>	
4 警防課担当係長の増設	
<p>火災等の災害現場における指揮支援や監察機能を強化するため、警防課担当係長を増設し、警防課担当係長が特別高度救助部隊を統括する当直体制を構築した。</p>	
5 司令課執行体制の見直し	
<p>警防基準人員の増員等により誤指令防止対策等を強化するため、司令係を現行の4部制から3部制へ見直すこととし、司令課担当係長を廃止し、司令第三係長を設置した。</p>	
<p>あわせて、司令課担当課長を増設し、各司令課担当課長が各司令係をそれぞれ統括する当直体制を構築した。</p>	
6 救急課担当課長及び担当係長の設置	
<p>高齢化の進展等により、増加し続ける救急需要に対応するため、救急課担当課長及び担当係長を設置した。</p>	
7 消防署の警備担当課長の課長級化	
<p>消防署における当直体制を強化する一方で、職員管理や不祥事防止対策を含めた人材育成の推進等を充実するため、係長級である警備担当課長を課長級に引き上げた。</p>	

年 月	記 事
	<p>8 消防署の警備担当課長、警備第一課長及び警備第二課長の名称変更  総務省消防庁の告示や通知における用語等との整合を図るため、消防署の警備担当課長、警備第一課長及び警備第二課長の名称を変更し、警防担当課長、警防第一課長及び警防第二課長とした。  あわせて、消防署の警備第一係及び警備第二係の名称も変更し、警防第一係及び警防第二係とした。</p> <p>9 安全管理担当の兼務発令の整理  区役所において、区総務課長、区総務課庶務係長及び区総務課危機管理担当係長に新たに兼務発令される「地域防災支援担当」とさらなる連携を図るとともに、区民にとって分かりやすい組織とするため、消防署長及び副署長に発令されている区役所の「安全管理担当」の兼務を整理し、「災害対策担当」へ名称変更した。  また、消防署の警防担当課長についても、新たに「災害対策担当」を兼務発令することとした。  「福島支援全国消防派遣隊」発足に伴う応援派遣  特別高度救助部隊員24名</p>
2014年(平成26年)	5月 自家用給油取扱所の運用開始 (消防訓練センター、西消防署、港南消防署港南台消防出張所、港北消防署日吉消防出張所、青葉消防署 計5か所)
	7月 第42回 消防救助技術関東地区指導会(消防訓練センター) 新ヘリコプター1号機(AW139)運用開始
	8月 第42回 全国消防救助技術大会(広島市) (陸上：旧広島市民球場跡地、水上：広島市総合屋内プール) 金沢区福浦二丁目 倉庫火災
	10月 台風26号による家屋倒壊等に伴う伊豆大島への緊急消防援助隊の派遣 第21回 全国女性消防操法大会支援(消防訓練センター) 延べ207名
	1月 横浜消防出初式2014(横浜赤レンガ倉庫イベント広場)
	<p>4月 消防局組織機構改革</p> <p>1 予防部予防課担当係長の名称変更  担当業務内容を明確化するため、「予防課担当係長」(2名)の名称を変更し業務内容に即した「予防課予防担当係長」及び「予防課普及担当係長」とした。</p> <p>2 警防部警防課担当係長の名称変更  特別高度救助部隊配置及び当直勤務体制を明確化するため、「警防課担当係長」(3名)の名称を変更し、「警防課特別高度救助部隊統括担当係長」、「警防課特別高度救助部隊第一担当係長」及び「警防課特別高度救助部隊第二担当係長」とした。</p> <p>3 初期消火器具等整備費補助事業  総務部総務課が所管する初期消火器具等整備費補助金交付事業について、初期消火訓練指導や意識啓発と一体的に初期消火器具の整備を行うなど、より効果的かつ効率的に事業を推進するため予防部予防課へ事務移管した。</p>

年 月	記 事
2015(平成27年)	<p>4 防火対象物点検報告特例認定及び防災管理点検報告特例認定に関する業務</p>
	<p>予防部査察課が所管する防火対象物点検報告特例認定及び防災管理点検報告特例認定に関する業務について、より効率的に実施するため消防署へ事務移管した。</p>
	<p>5 大規模事業所(自衛消防組織設置義務対象物)に対する火災予防査察に関する業務</p>
	<p>消防署で実施する大規模事業所(自衛消防組織設置義務対象物)に対する火災予防査察に関する業務について、検査期間の短縮を図るなど、より効率的に実施するため、予防部査察課へ事務移管した。</p>
	<p>8月 第43回 全国消防救助技術大会中止(千葉市)</p>
	<p>横浜救助50周年記念フォーラム</p>
	<p>国際消防救助隊(I R T)連携訓練を開催</p>
	<p>緑消防署事務開始(建替)</p>
	<p>9月 消防フェア(横浜市民防災センター)</p>
	<p>11月 横浜市救急受診ガイドの運用開始</p>
	<p>1月 横浜消防出初式2015(横浜赤レンガ倉庫イベント広場)</p>
	<p>4月 第27代局長 久保田 真人 就任</p>
<p>消防局組織機構改革</p>	
<p>1 総務部総務課機構改革の実施</p>	
<p>(1) 総務部総務課消防団系の移管</p>	
<p>消防団業務に係る執行体制を強化するため、消防団課を設置した。</p>	
<p>(2) 総務部総務課担当課長の廃止</p>	
<p>総務課消防団系の移管に伴い、コンプライアンス関係業務等を総務課長が所管することとし、総務課担当課長を廃止した。</p>	
<p>2 総務部消防団課の設置</p>	
<p>「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」の公布・</p>	
<p>施行を踏まえ、消防団員確保、処遇の改善、装備の充実等、消防団の充実強化を強力に推進するため、消防団課を設置した。</p>	
<p>3 予防部予防課機構改革の実施</p>	
<p>(1) 警防部計画課調査系の移管</p>	
<p>火災の原因、延焼の要因、消防用設備等の作動状況などの調査結果</p>	
<p>を火災予防施策に反映させ、防火・防災対策等をより一層推進するため、計画課調査係を予防課へ移管した。</p>	
<p>(2) 予防部予防課の係制導入</p>	
<p>計画課調査系の移管に伴い、予防課の役割分担を明確化するため、</p>	
<p>予防課に係制を導入した。このため、予防課予防担当係長及び予防課</p>	
<p>普及担当係長を廃止し、予防課予防係長及び予防課担当係長を設置した。</p>	
<p>4 警防部警防課機構改革の実施</p>	
<p>(1) 警防部計画課計画系の移管</p>	
<p>甚大な被害をもたらす自然災害への対策として、横浜市地震防災戦略</p>	
<p>に基づく地震火災対策等を一元的に推進するとともに、公設消防力</p>	

年 月	記 事
2016(平成28年)	<p>の更なる充実強化を図るため、計画課計画係を警防課へ移管した。</p> <p>(2) 警防部警防課担当課長の設置            計画課計画係の移管等に伴い、自然災害対策の強化や消防隊の活動能力の向上など、警防活動体制を充実強化するため、警防課担当課長を設置した。</p> <p>また、計画課長の廃止に伴い、「都市整備局防災まちづくり推進室防災まちづくり推進課担当課長」を兼務発令した。</p> <p>(3) 機動消防隊（機動特殊災害対応隊）の移管            実働部隊である機動消防隊を訓練救助係から対策係へ移管することで、各種災害に対する活動要領の作成において、企画段階から対策係として一体的に検証等を行い、消防隊の活動能力の更なる向上を図った。</p> <p>5 警防部計画課の廃止            計画課の所管業務について、より効率的かつ効果的に予防施策や警防施策に反映させるため、計画課計画係は警防課へ、計画課調査係は予防課へ移管することとし、計画課を廃止した。</p> <p>6 消防署査察指導担当課長（係長級）の設置            予防業務の高度化・専門化に対応するため、6消防署（鶴見消防署、神奈川消防署、西消防署、中消防署、磯子消防署及び港北消防署）に建築物や危険物に対する規制事務等を主体的に担う査察指導担当課長を設置した。</p>
	6月 新ヘリコプター2号機(AW139)運用開始
	8月 第44回 全国消防救助技術大会(神戸市) (陸上：神戸学院大学ポートアイランドキャンパス) (水上：神戸市立ポートアイランドスポーツセンター)
	10月 第22回 全国女性消防操法大会支援(消防訓練センター)
	1月 横浜消防出初式2016(横浜赤レンガ倉庫イベント広場)
	2月 南消防署事務開始(移転)
	南消防署蒔田消防出張所事務開始(新設)
	南消防署中村町消防出張所廃止
	金沢消防署事務開始(建替)
	<p>4月 消防局組織機構改革</p> <p>1 予防部指導課担当係長（保安2法準備担当）の設置            「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」の施行に伴い、「火薬類取締法」及び「高圧ガス保安法」に係る一部事務について、平成29年度、平成30年度にそれぞれ神奈川県から移管されることを踏まえ、当該事務の円滑な移譲、開始に向け、神奈川県及び関係団体等との連絡調整、関係例規及び事務手続マニュアル等の整備、各種研修の受講、職員への教育等、局内外の環境整備を専断的に所管するため、指導課担当係長（保安2法準備担当）を設置した。</p> <p>2 横浜市民防災センター担当係長の設置            館内展示室及びツアー、プログラム等の企画立案並びに関係区局との</p>



年 月	記 事
	<p>連絡調整を行うほか、ツアー及び各種プログラムの運営、施設管理等を所管するため、担当係長を設置した。</p> <p>3 司令課消防救急デジタル担当係長の廃止 消防救急デジタル無線の整備完了に伴い、平成27年度までの時限借置を解消した。</p> <p>4 横浜ヘリポート航空管制科の名称変更 横浜ヘリポート「航空管制科」の名称を、所管業務の実態に合わせ、「航空科」へ名称変更した。</p> <p>5 消防署の機構改革の実施 (1) 査察指導担当課長（係長級）の拡大設置 予防業務の高度化・専門化に対応するため、平成27年度に6消防署（鶴見、神奈川、西、中、磯子及び港北消防署）に配置した査察担当課長を、3消防署（金沢、青葉及び都筑消防署）に新たに設置した。 (2) 消防署庶務課消防団系の設置 消防署における消防団業務の窓口を明確にした体制を整備するため消防署庶務課消防団係を設置した。</p> <p>横浜市民防災センターリニューアルオープン 熊本地震に伴う熊本県への職員派遣 消防救急デジタル無線運用開始</p> <p>5月 伊勢志摩サミットの消防特別警戒に対する消防隊等派遣（4隊36名） 8月 岩手県における台風10号災害に伴う緊急消防援助隊の派遣実施（2隊14名） 第45回 全国消防救助技術大会（松山市 松山中央公園） 9月 消防フェア（横浜市民防災センター） 12月 横浜市民防災センター年間来場者数10万人達成</p>